

保護者アンケート集計結果

○調査対象者：0歳～29歳までの子どもの保護者

※なお、子ども・子育てに関する負担感や満足感、施策ニーズをきめ細かに把握することを目的に、以下表に示す6つの時間軸（保護者の子どもの年齢）に着目したステージ（以下、区分）ごとに配布、集計を実施

○調査日：令和6年3月5日（火）～18日（月）

○調査基準日：令和6年3月31日現在

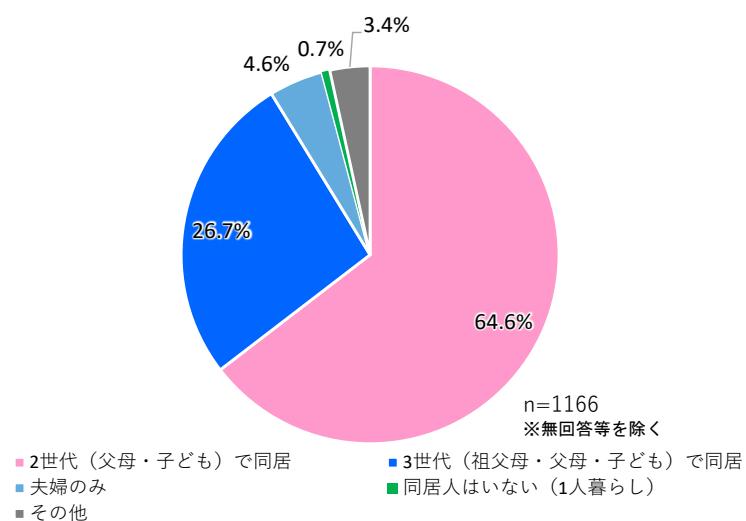
調査対象者 ※保護者の 子どもの年齢	配布方法	回収方法	配布数	回収数	回収率
区分①：妊娠期間	妊娠届提出者に郵送 (過去1年程度)	Web 回収	81	49	60.5%
区分②：0～2歳	保育園から配布 住民基本台帳から抽出		643	201	31.3%
区分③：3～6歳	保育園から配布		800	375	46.9%
区分④：7～12歳 (小学生)	学校から配布		1,853	612	33.0%
区分⑤：13～14歳 (中学1,2年生)	学校から配布		637	279	43.8%
区分⑥：15～29歳 (中学3年生・高校生、 大学生、社会人等)	住民基本台帳から配布		1,000	370	37.0%

問1 ご家族の基本情報

問1 現在同居している方を教えてください。(1つを選択)

- 回答者の同居状況としては、2世代（父母・子ども）で同居が最も多く、全体の64.6%を占めている。
- 3世代での同居が次いで多く、全体の26.7%を占めている。
- 回答者のうち約9割の家庭で、2世代・3世代で生活していると回答している。

【グラフ】

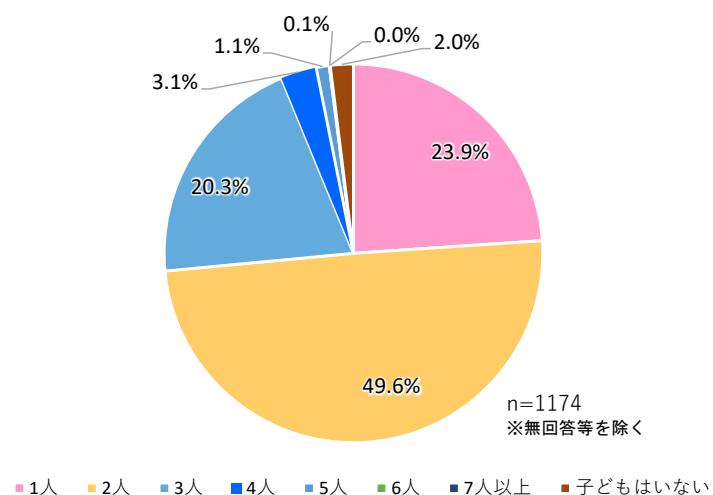


問2 家庭での子どもの育ちをめぐる環境について

問2-1-1 お子さんの人数を教えてください。(1つを選択)

- 1 家庭あたりの子どもの人数について、子ども2人の回答が最も多く全体の約半数を占めている。
- 次いで、子ども1人および子ども3人の回答がそれぞれ約2割強となる。

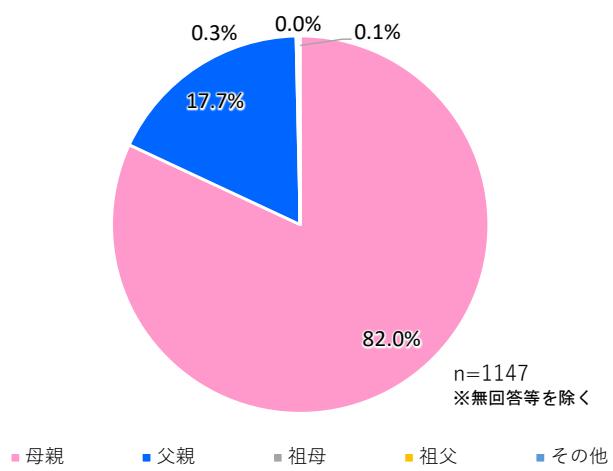
【グラフ】



問2-1-2 お子さんからみたあなたの関係をお答えください。(1つを選択)

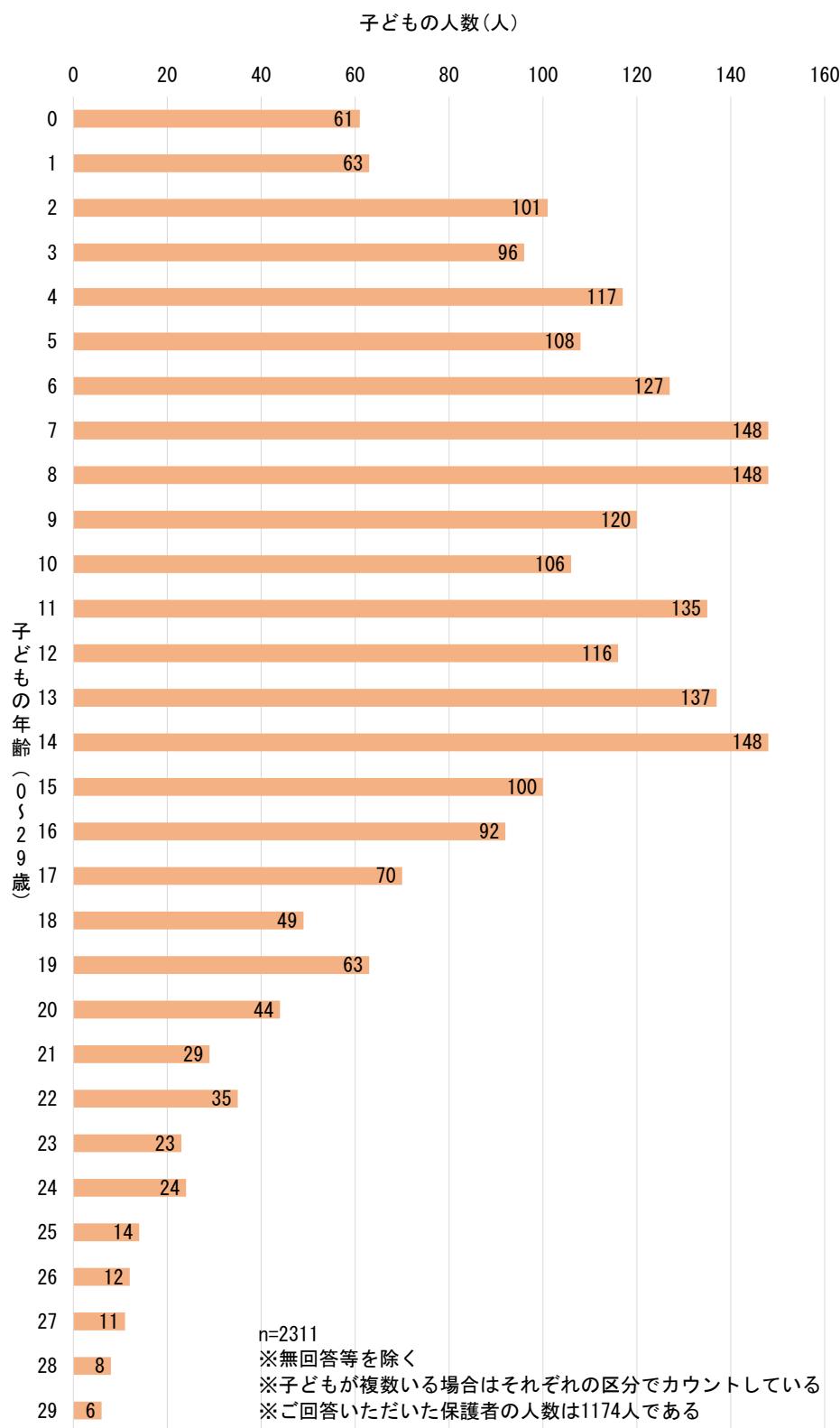
- 母親が全体の約8割を占めている。

【グラフ】



問2-1-3 お子さんの年齢をご入力ください。

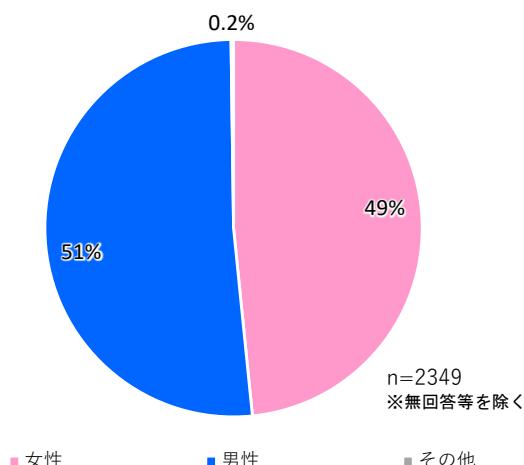
【グラフ】



問 2-1-4 お子さんの性別を教えてください。

○男女で概ね半数ずつの回答となっている。

【グラフ】

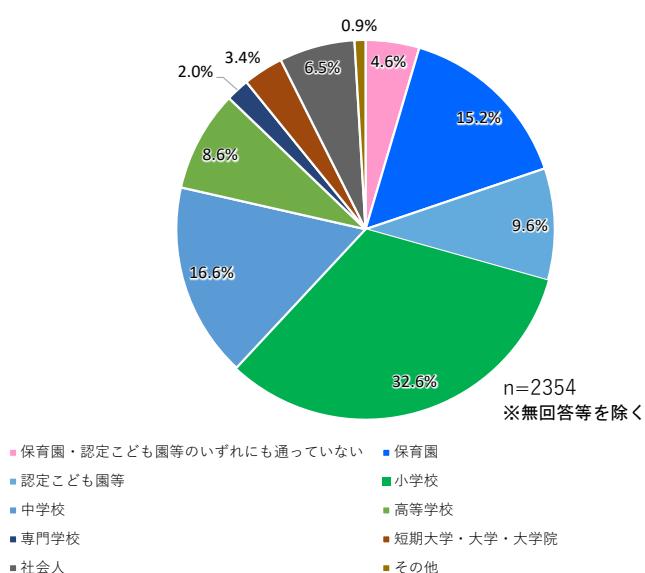
問 2-1-5 お子さんの就園・就学状況を教えてください。(1つを選択)

○小学校在学が最も多く、全体の 32.6%を占めている。

○次いで、保育園在園・中学校在学が多く、それぞれ 15.2%、16.6%の回答となっている。

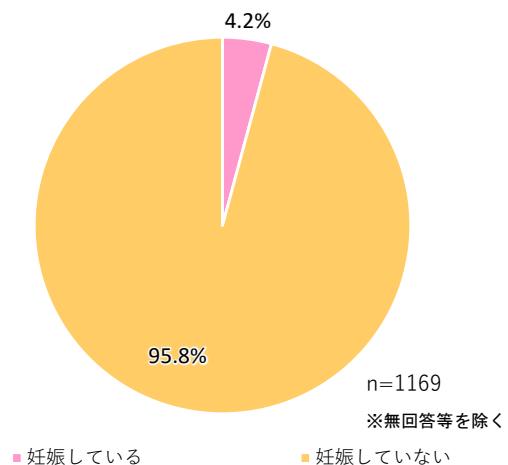
○上記以外にも、認定こども園在園・高校在学が約 10%ずつ得られたほか、専門学校や大学等の各種回答も一定数得ている。

【グラフ】



問 2-1-6 あなたもしくはあなたのパートナーは現在、妊娠されていますか。(1つを選択)

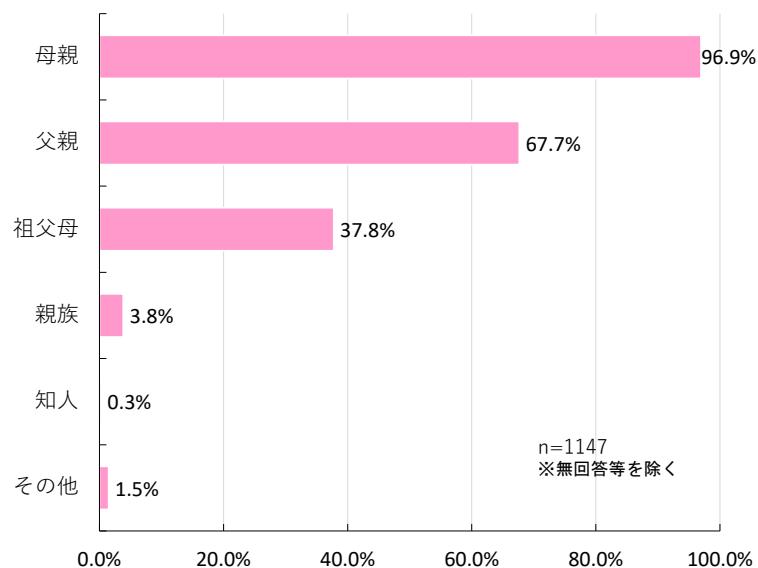
【グラフ】



問 2-2-1 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなたですか。（当てはまるものすべて選択）

○子どもの子育てに日常的に関わっている方について、母親との回答が最も多く、次いで父親、祖父母等と続いている。

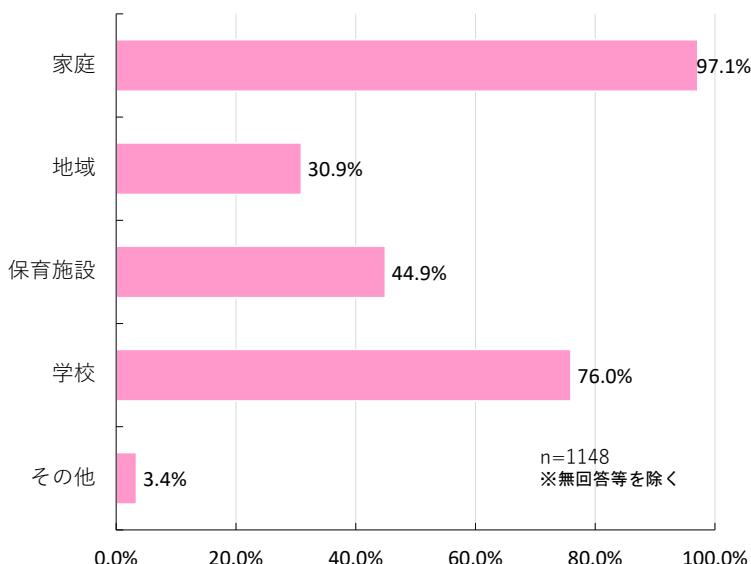
【グラフ】



問 2-2-2 お子さんの子育て（教育を含む）に、強く影響すると思われる環境を教えてください。（当てはまるものすべて選択）

○家庭との回答が最も多く、次いで学校となっている。

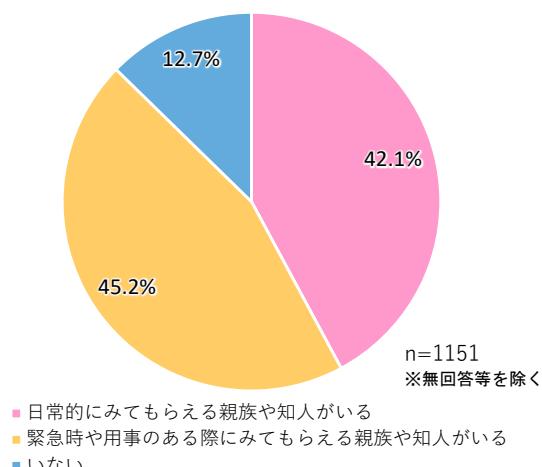
【グラフ】



問 2-2-3 日頃、お子さんをみてもらえる親族や知人はいますか。（1つを選択）

- 回答者のうち、42.1%の家庭で日頃より日常的に子どもを見てもらえる親族や知人がいると回答している。
- 一方で、12.7%の家庭では、日頃子どもを見てもらえる親族や知人がいないと回答している。

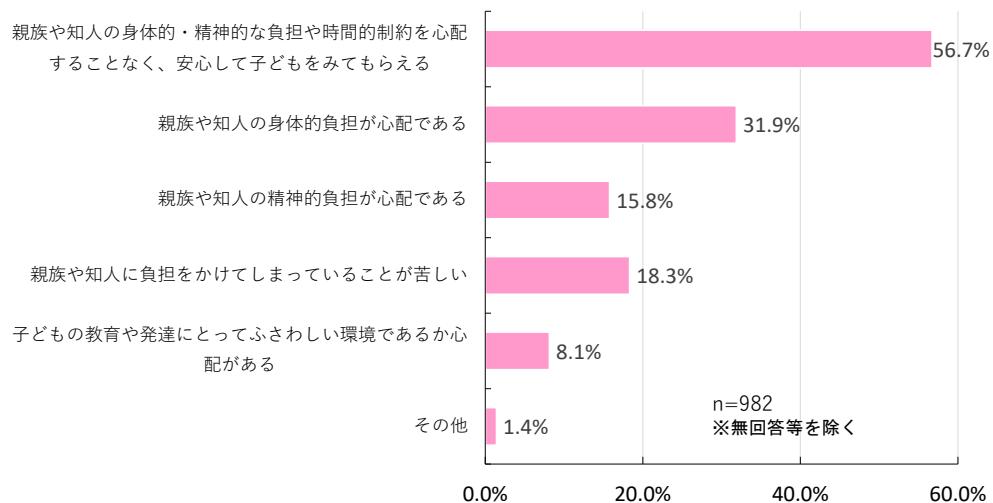
【グラフ】



問 2-2-4 親族にお子さんをみてもらっている状況について教えてください。(当てはまるものすべて選択)

○精神的な負担や時間的制約を心配することなく安心してみてもらえる状況にあるとの回答が最も多くなっている。

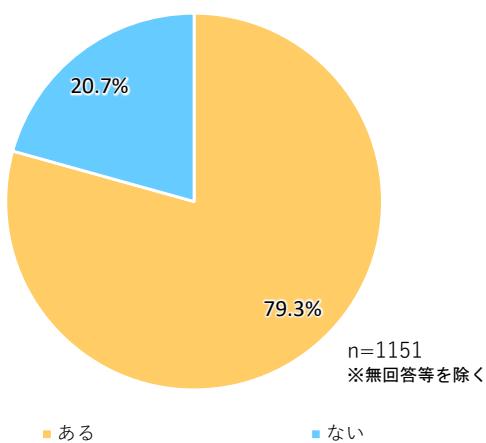
【グラフ】



問 2-3-1 お子さんの子育て（教育を含む）をするうえで、気軽に相談できる人や場所はありますか。（1つを選択）

○回答者の 79.3% でお子さんの子育てをするうえで気軽に相談できる人や場所があると回答している。

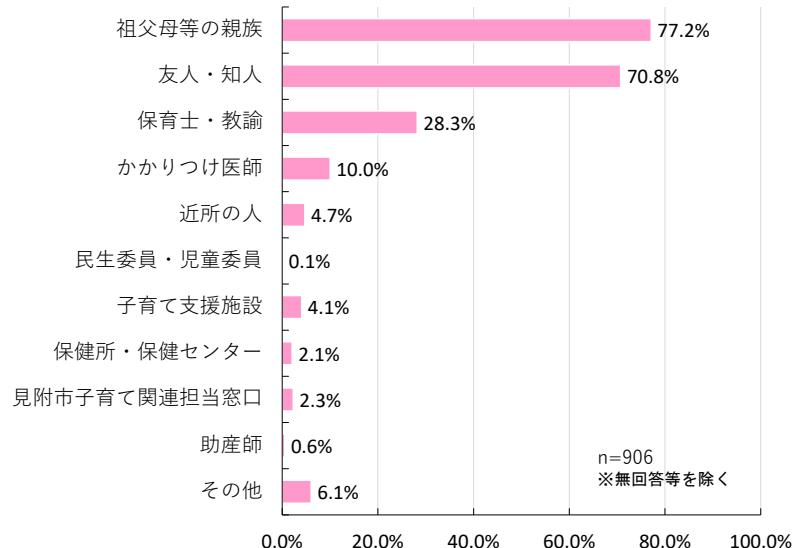
【グラフ】



問2-3-2 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（当てはまるものすべて選択）

- 子どもの子育てをするうえで気軽に相談できる人や場所があると回答した人のうち、相談先が祖父等の親族と回答した人が多くなっている。
- 友人・知人との回答が祖父母等の親族と同程度の水準で多くなっている。

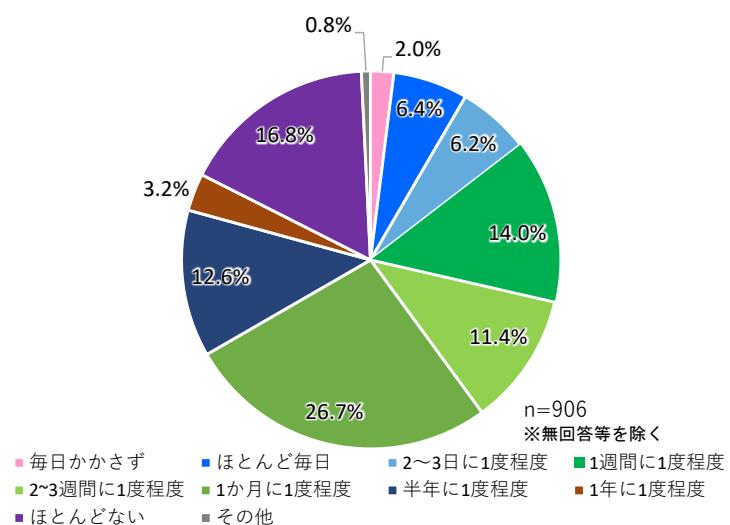
【グラフ】



問2-3-3 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、大まかな相談頻度を教えてください。（1つを選択）

- 子どもの子育てをするうえで気軽に相談できる人や場所があると回答した人について、相談頻度は毎日欠かさずからほとんどないに至るまで、回答がバラついている。

【グラフ】

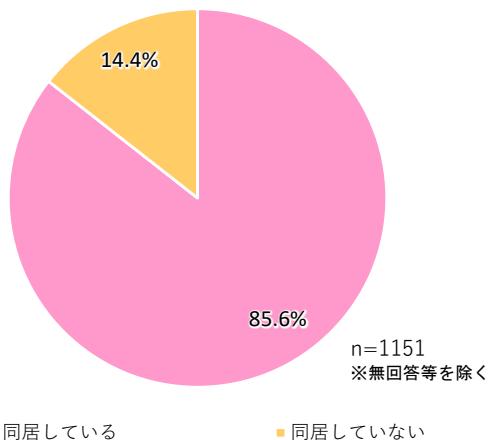


問3 親の就労状況について

問3-0-1 現在、保護者にあたる父親の方がお子さんと同居していますか。(1つを選択)

○回答のうち、85.6%の家庭で、父親と子どもが同居している。

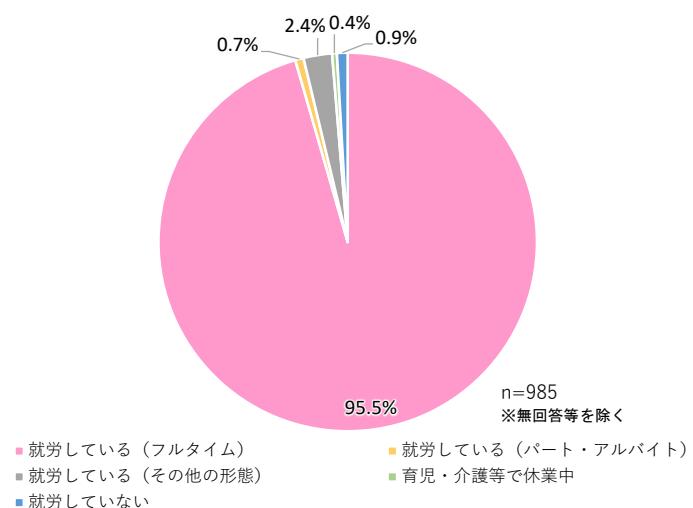
【グラフ】



問3-1-1-1 保護者にあたる父親の方の就労形態について教えてください。(1つを選択)

○95.5%の家庭で父親がフルタイムで就労している。

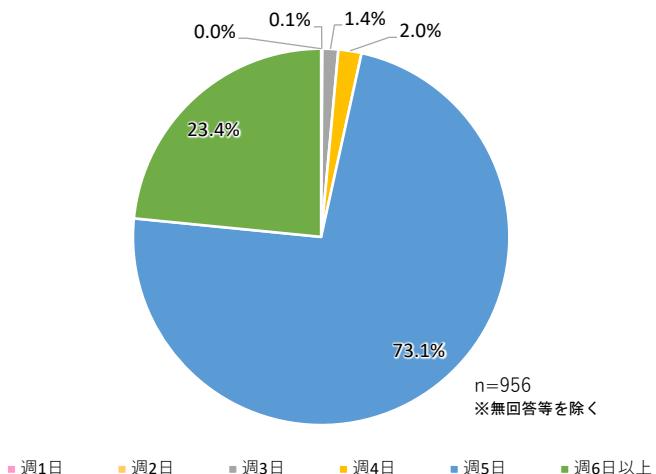
【グラフ】



問3-1-1-2 保護者にあたる父親の方の1週間あたりの大まかな就労日数について教えてください。(1つを選択)

- 回答のうち、73.1%の家庭で父親が週5日程度（週休2日程度）で就労している。
- 次いで、週6日以上が23.4%で多く、週5日程度と合わせて全体の約97%弱を占めている。

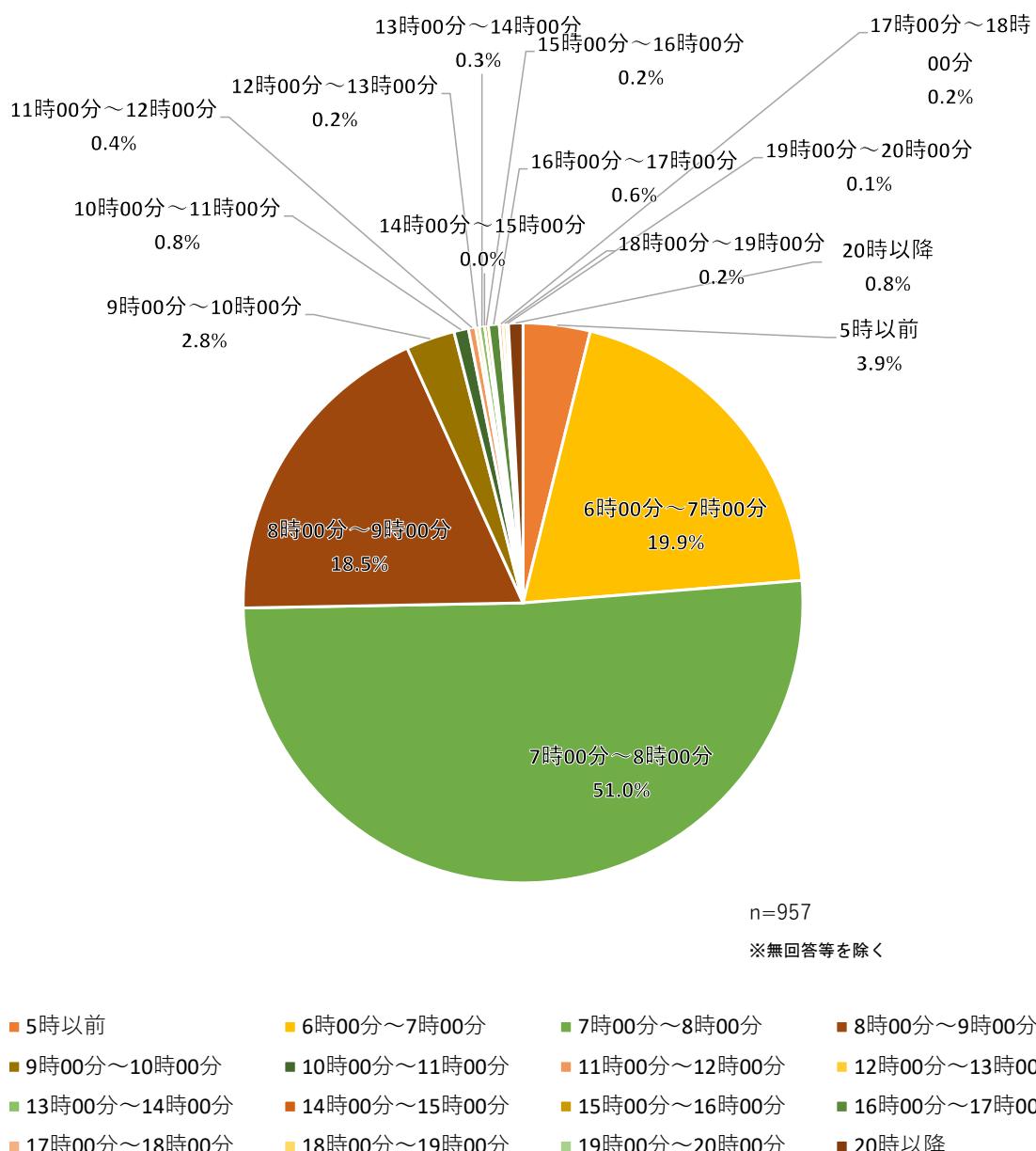
【グラフ】



問 3-1-1-3 保護者にあたる父親の方の大まかな出勤時間について教えてください。(1つを選択)

- 回答者のうち、約半数の家庭で父親が 7 時～8 時の間に出勤している。
- 次いで、6 時～7 時・8 時～9 時がそれぞれ 19% 前後となり、これらを合わせた時間帯 (6 時～9 時) のうちに全体の約 90% が集中している。

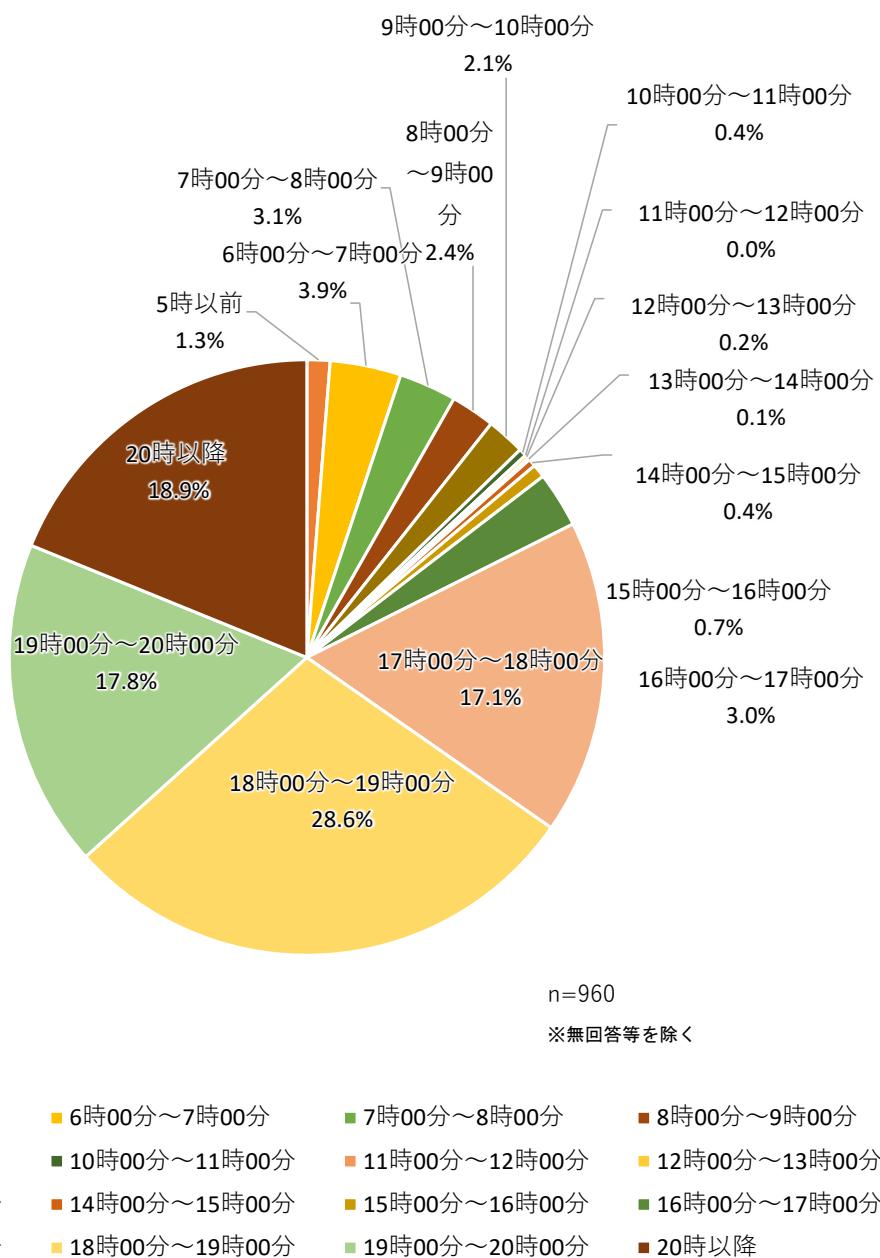
【グラフ】



問 3-1-1-4 保護者にあたる父親の方の大まかな帰宅時間について教えてください。(1つを選択)

- 回答者のうち、約 29% の家庭で父親が 18 時～19 時の間に帰宅している。
- 次いで、17 時～18 時・19 時～20 時・20 時以降がそれぞれ 18% 前後となっている。

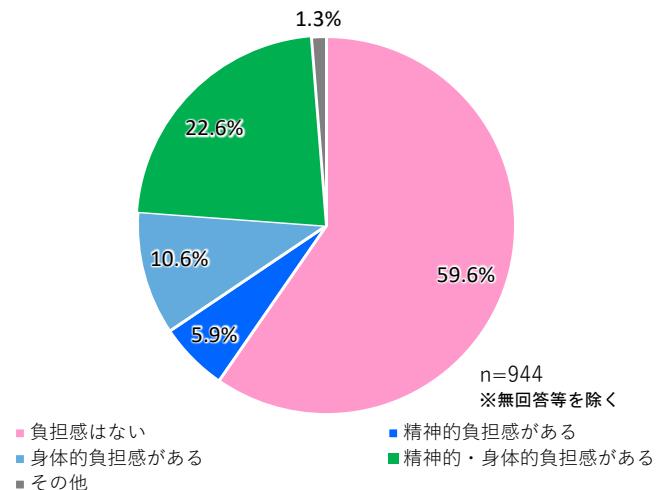
【グラフ】



- 5時以前
- 9時00分～10時00分
- 13時00分～14時00分
- 17時00分～18時00分
- 6時00分～7時00分
- 10時00分～11時00分
- 14時00分～15時00分
- 18時00分～19時00分
- 7時00分～8時00分
- 11時00分～12時00分
- 15時00分～16時00分
- 19時00分～20時00分
- 8時00分～9時00分
- 12時00分～13時00分
- 16時00分～17時00分
- 20時以降

問 3-2-1-1 保護者にあたる父親の方の就労状況について子育てとの両立に負担感はありますか。(1つを選択)

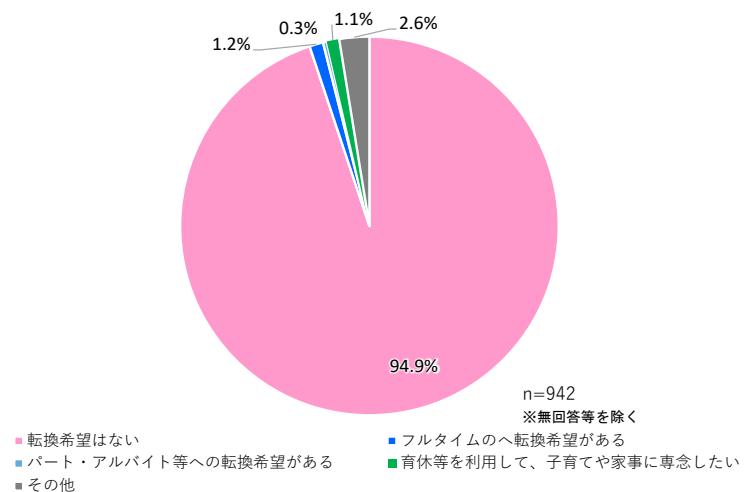
【グラフ】



問 3-2-1-2 保護者にあたる父親の方の就労形態について転換希望はありますか。(1つを選択)

○回答のうち、約 95% で父親の就労形態に転職希望は無いと回答している。

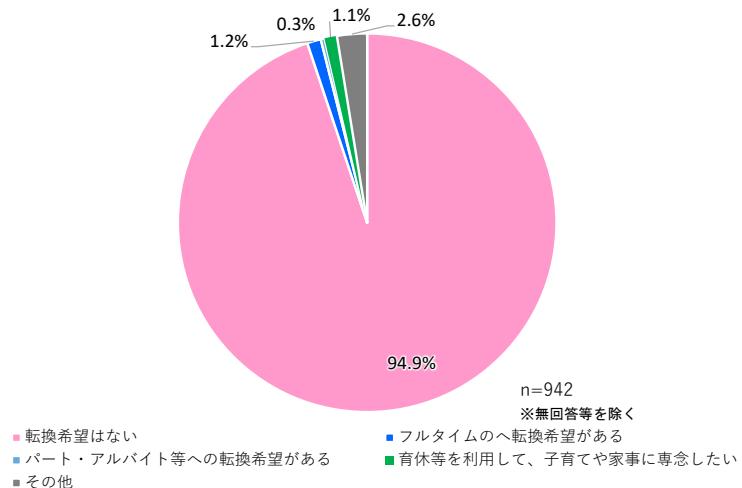
【グラフ】



問 3-2-1-3 保護者にあたる父親の方の就労形態について転換希望はありますか。(1つを選択)

○回答のうち、94.9%で父親の就労形態に転職希望は無いと回答している。

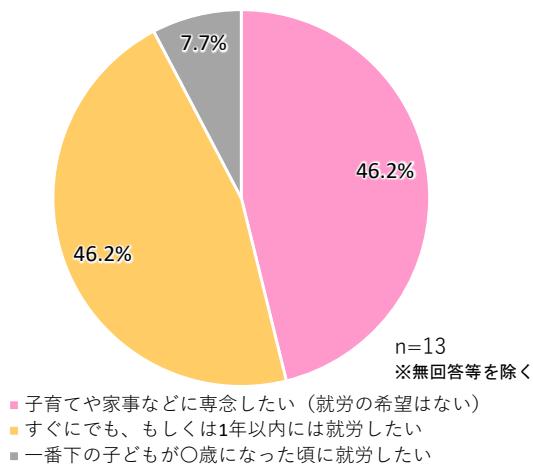
【グラフ】

問 3-2-1-4 保護者にあたる父親の方の就労形態について、就労希望はありますか。(1つを選択)

○46.2%が子育てや家事に専念したく、就労の希望はないと回答している。

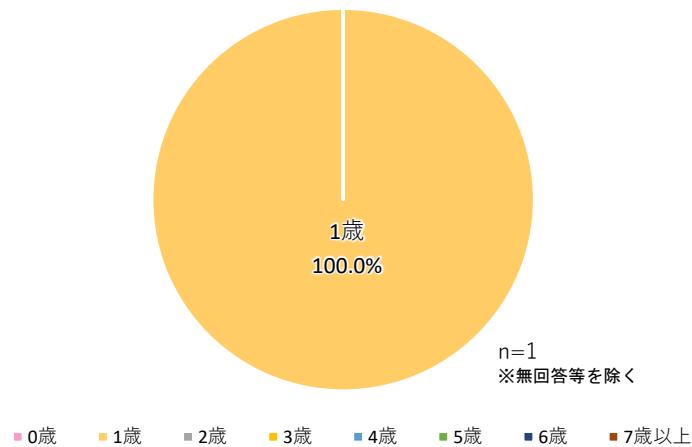
○一方で、同割合で、すぐにもしくは1年以内に就労したいと回答している。

【グラフ】



問 3-2-1-5 子どもが何歳になった際に、就労したいと考えていますか。(1つを選択)

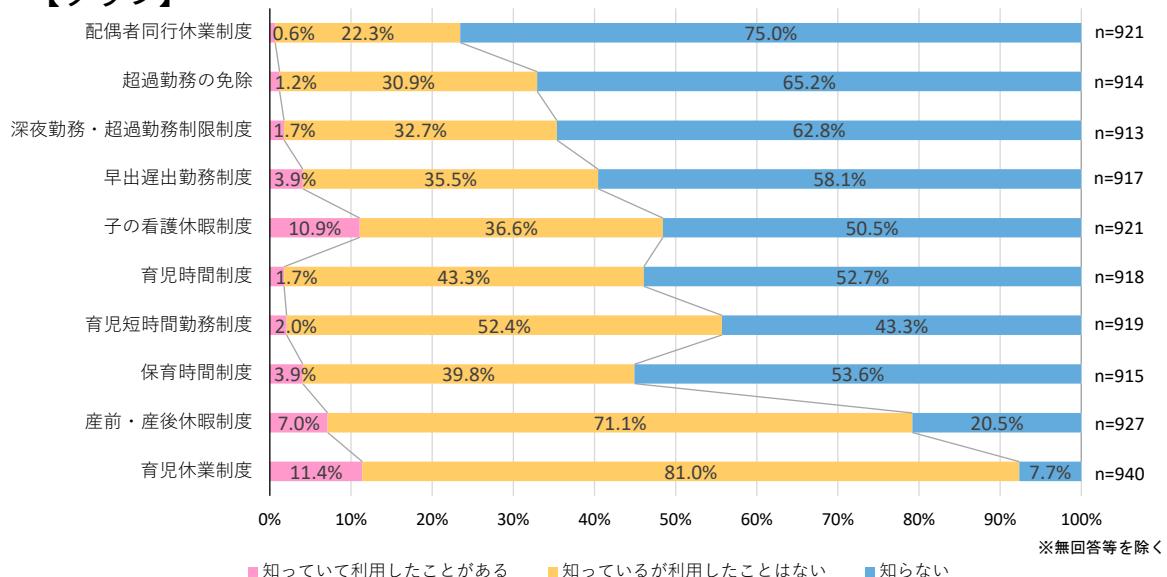
【グラフ】



問 3-3-1-1 子育て両立支援制度について、保護者にあたる父親の方が知っているものや利用したことのある制度はありますか。(制度ごとに1つを選択)

- 育児休業制度・子の看護休暇において、知っていて利用したことのある割合が高く、それぞれ10%前後となっている。
- 一方で、利用したことのないものの知っている制度としては、育児休業制度・産前産後休暇制度が最も多く、それぞれ約81%・約71%となっている。これは、自身ではなく配偶者等が取得したことで、制度自体の認知は進んでいる為と考えられる。
- 育児休業制度・産前産後休暇制度以外の制度では、概ね半数以上の父親が制度を知らないと回答しており、各種子育て両立支援施策の認知が父親内で拡がっていないといえる。

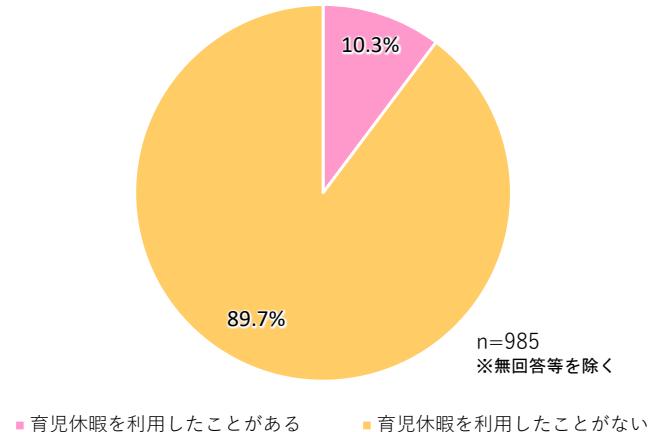
【グラフ】



問 3-3-1-2 育児休暇について、保護者にあたる父親の方がこれまでに利用したことはありますか？（1つを選択）

○育児休暇を利用したことのある父親は、約 10% 前後に留まっている。

【グラフ】

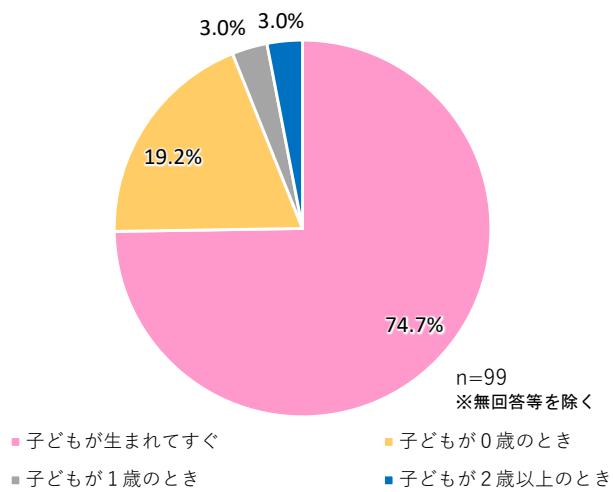


問 3-3-1-3 育児休暇について、保護者にあたる父親の方が最も直近で取得した際の、取得した時期を教えてください。（1つを選択）

○74.7% で子どもが生まれてすぐに取得している。

○次いで、子どもが 0 歳の時に取得するケースが多く、19.2% となっている。

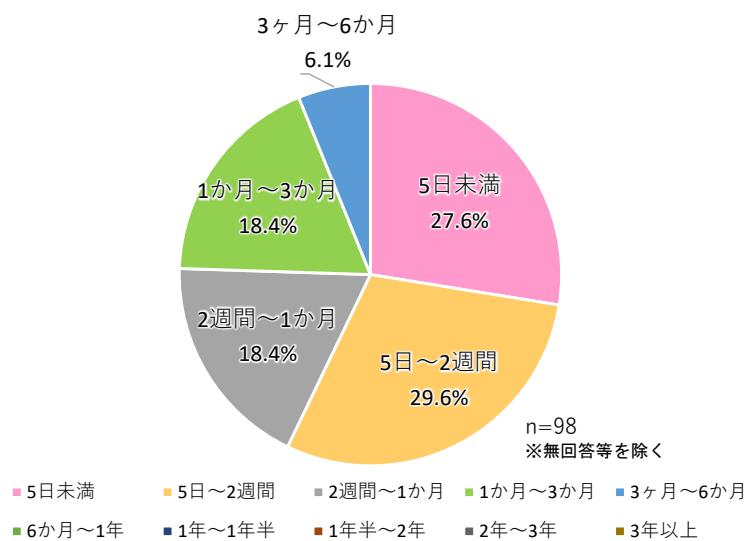
【グラフ】



問3-3-1-4 育児休暇について、保護者にあたる父親の方が最も直近で取得した際の、取得期間について教えてください。(1つを選択)

- 取得期間については5日～2週間が全体の29.6%と最も多く、次いで5日未満が27.6%となっている。
- その他には、2週間～1か月・1か月～3か月がそれぞれ約18%前後ずつ存在し、6か月（半年）以上取得したと答えた回答は得られなかった。

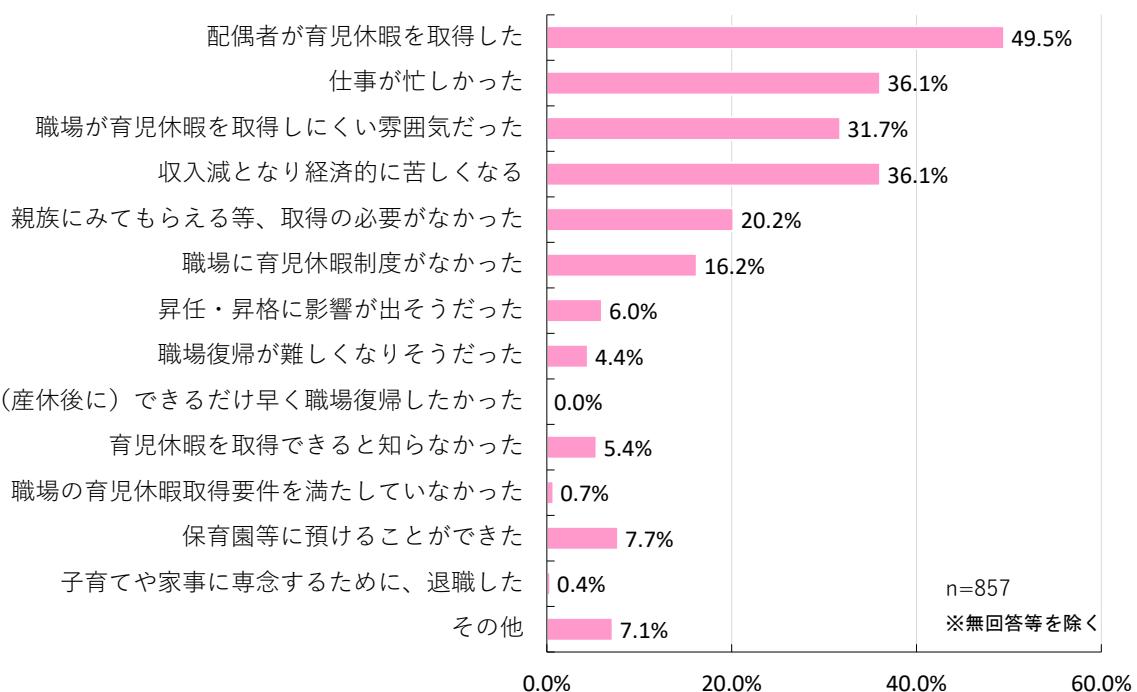
【グラフ】



問3-3-1-5 育児休暇について、保護者にあたる父親の方が取得しなかった理由を教えてください。(当てはまるものすべて選択)

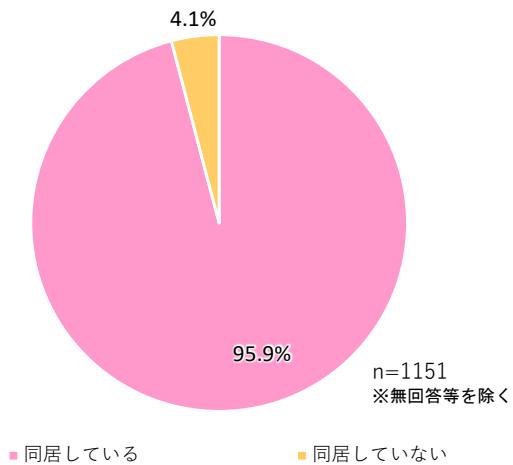
- 最も多かったものは配偶者が育児休暇を取得したからとなり、回答のうちおよそ半数を占める割合となっている。
- 次いで、仕事が忙しかった・収入減となり経済的に苦しくなる・職場が育児休暇を取得しにくい雰囲気だったが多くなっている。

【グラフ】



問3-0-2 現在、保護者にあたる母親の方がお子さんと同居していますか。(1つを選択)

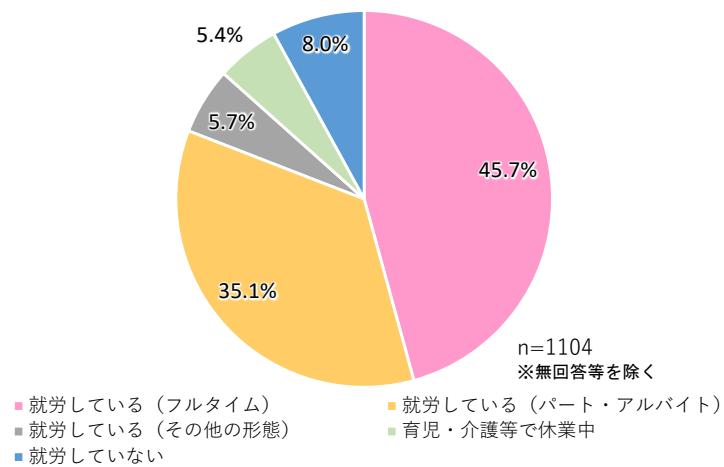
【グラフ】



問3-1-2-1 保護者にあたる母親の方の就労形態について教えてください。(1つを選択)

○回答のうち、86.5%の家庭で母親が就労している。

【グラフ】

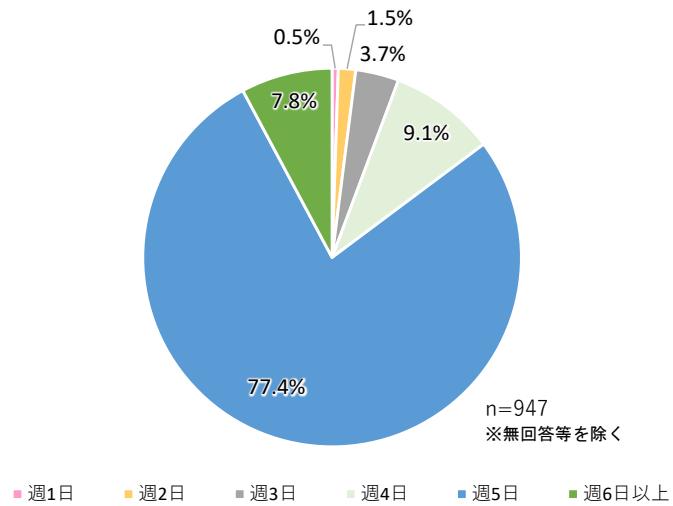


問 3-1-2-2 保護者にあたる母親の方の 1 週間あたりの大まかな就労日数について教えてください。(1 つを選択)

【考察】

- 回答のうち、77.4%の家庭で母親が週 5 日程度（週休 2 日程度）で就労している。
- 次いで、週 4 日と週 6 日以上が 9.1%と 7.8%で多く、週 5 日程度と合わせて全体の 94.3%を占めている。

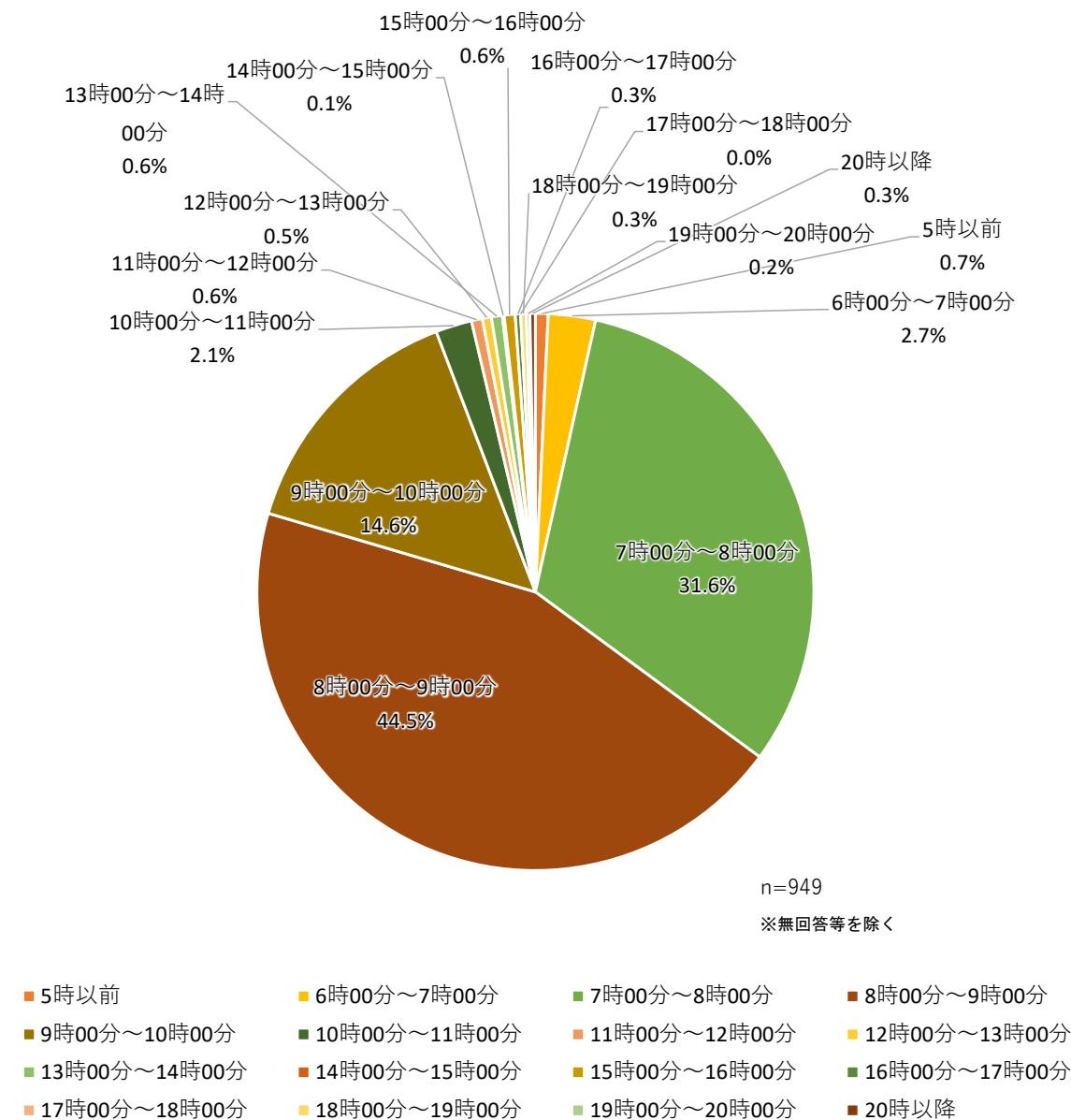
【グラフ】



問 3-1-2-3 保護者にあたる母親の方の大まかな出勤時間について教えてください。(1つを選択)

- 回答者のうち、44.5%の家庭で母親が8時～9時の間に出勤している。
- 次いで、7時～8時・9時～10時がそれぞれ31.6%と14.6%となり、これらを合わせた時間帯(6時～9時)のうちに全体の約90%が集中している。

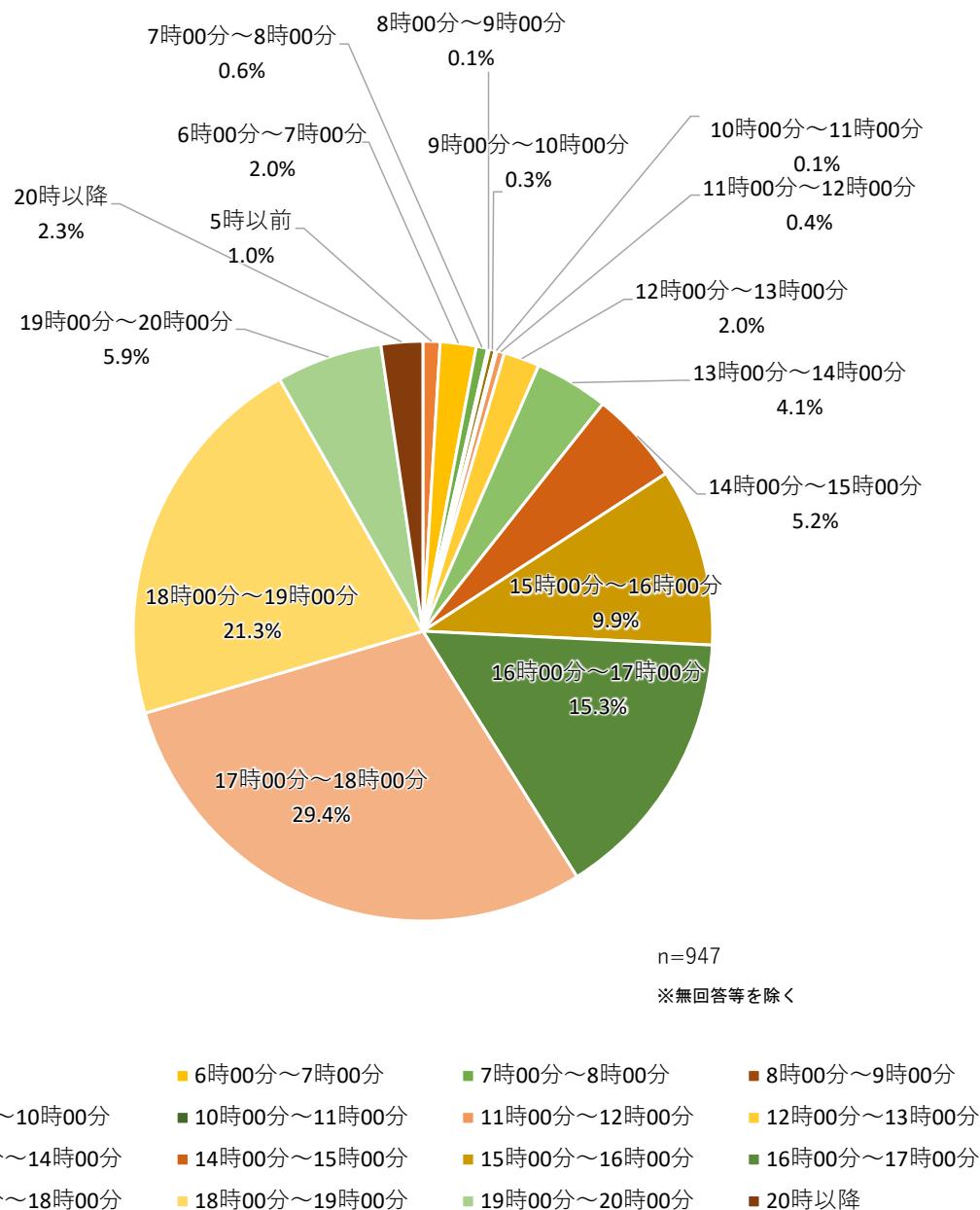
【グラフ】



問 3-1-2-4 保護者にあたる母親の方の大まかな帰宅時間について教えてください。(1つを選択)

- 回答者のうち、約 29% の家庭で母親が 17 時～18 時の間に帰宅している。
- 次いで、18 時～19 時・16 時～17 時・15 時～16 時がそれぞれ 21.3%、15.3% と 9.9% 前後となっている。

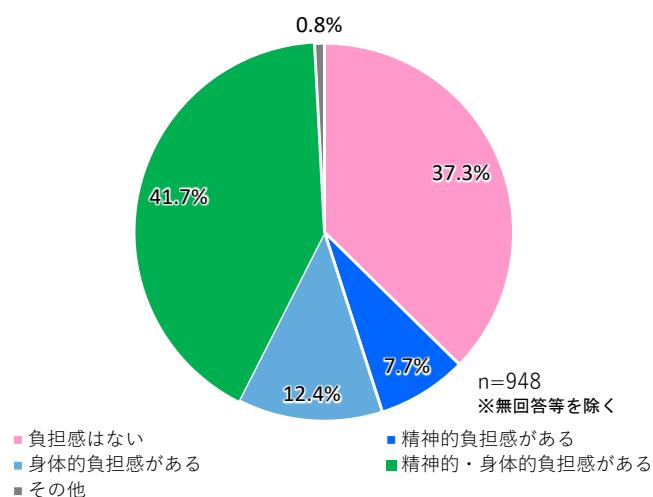
【グラフ】



問 3-2-2-1 保護者にあたる母親の方の就労状況について子育てとの両立に負担感はありますか。(1つを選択)

- 回答のうち、37.3%の母親が、現在の就労状況に負担感はないと回答している。
- 一方で、精神的・身体的の両方で負担感を感じる割合が41.7%で存在し、精神的・身体的のいずれかで負担感を感じる割合と合わせると、61.8%に上っている。

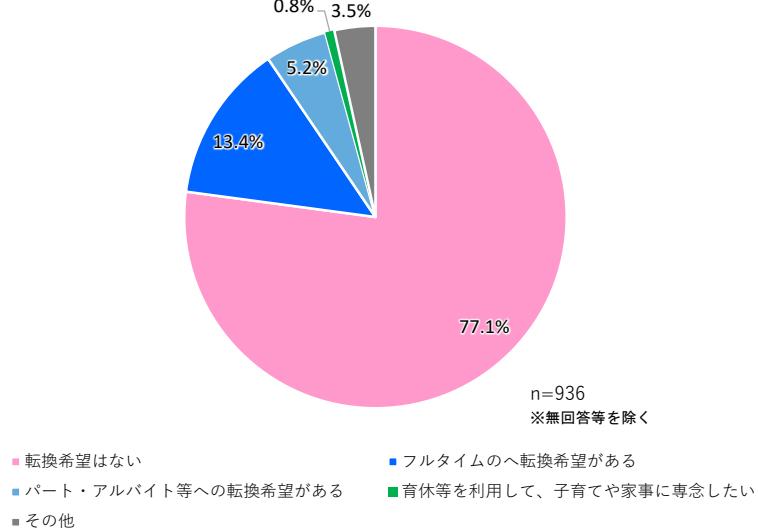
【グラフ】



問 3-2-2-2 保護者にあたる母親の方の就労形態について転換希望はありますか。(1つを選択)

- 回答のうち、77.1%で母親の就労形態に転職希望は無いと回答している。
- 一方で、フルタイムやパート・アルバイト等への転換希望がある割合を合わせると、18.6%に上る。

【グラフ】

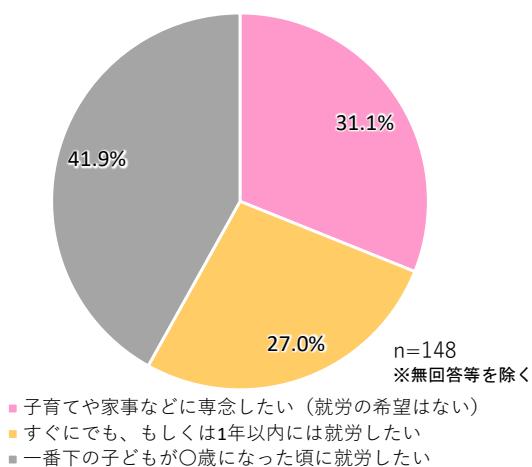


問3-2-2-3 保護者にあたる母親の方の就労形態について、就労希望はありますか。

(1つを選択)

- 31.1%が子育てや家事に専念したく、就労の希望はないと回答している。
- 一方で、一番下の子どもが○歳になった頃に就労したい割合が41.9%、すぐにもしくは1年以内に就労したい割合が27.0%で、将来就労したいと回答した人は約7割を占めている。

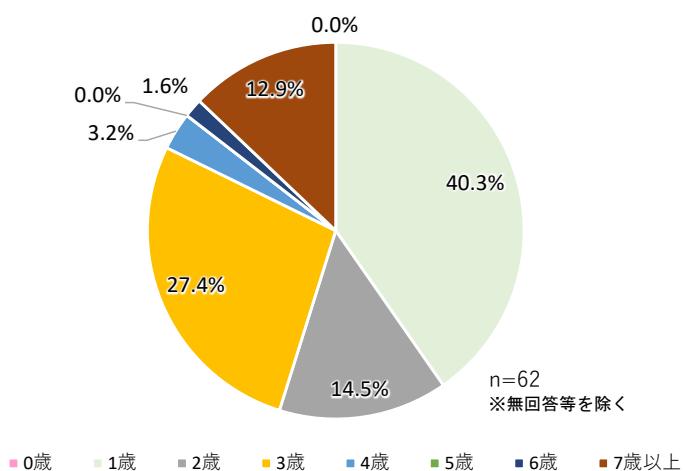
【グラフ】



問3-2-2-4 子どもが何歳になった際に、就労したいと考えていますか。(1つを選択)

- 就労希望時点での子どもの年齢を聞いたところ、1歳になった頃との回答が最も多く、全体の40.3%となっている。
- 次いで、3歳になった頃との回答が多く、27.4%となっている。

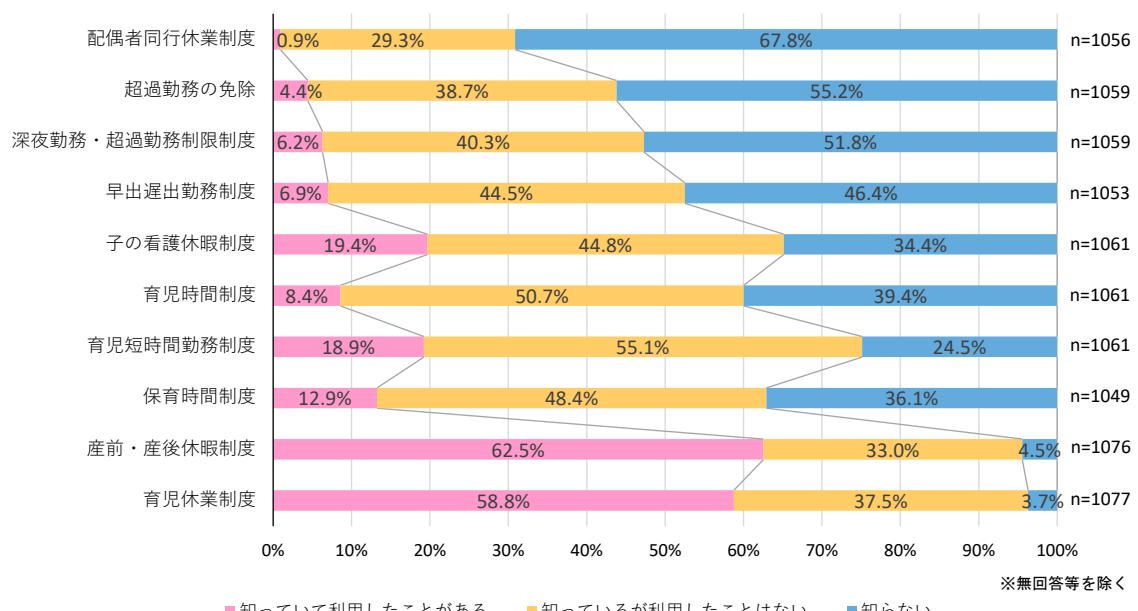
【グラフ】



問 3-3-2-1 子育て両立支援制度について、保護者にあたる母親の方が知っているものや利用したことのある制度はありますか。(制度ごとに1つを選択)

- 知っていて利用したことのある制度について、産前・産後休暇制度で割合が最も高く、回答の 62.5%が利用したことのある結果となっている。
- 次いで、育児休業制度が高く、回答の 58.8%が利用したことのある結果となっている。
- 一方で、利用したことはないもの知っている制度としては、育児短時間勤務制度が最も多く、55.1%となっている。

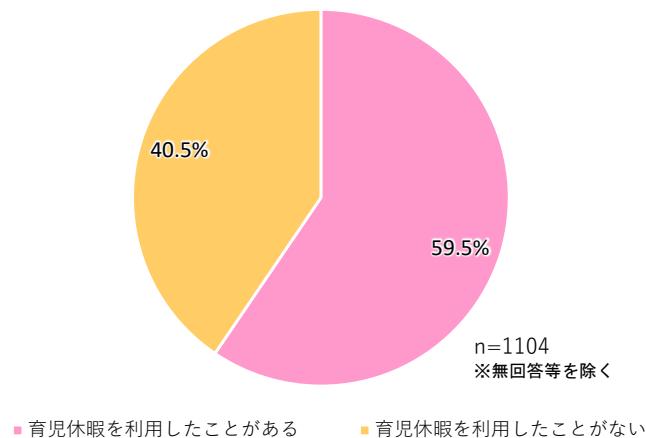
【グラフ】



問 3-3-2-2 育児休暇について、保護者にあたる母親の方がこれまでに利用したことありますか？（1つを選択）

○育児休暇について、回答の 59.5% の母親が利用したことがあると回答している。

【グラフ】

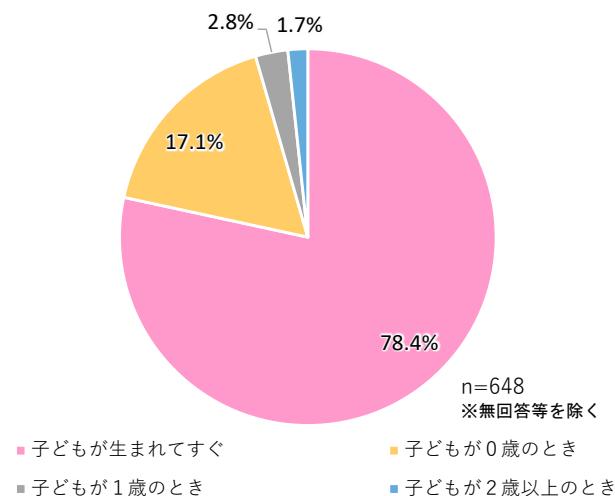


問 3-3-2-3 育児休暇について、保護者にあたる母親の方が最も直近で取得した際の、取得した時期を教えてください。（1つを選択）

○育児休暇を取得した母親のうち、78.4% で子どもが生まれてすぐに取得している。

○次いで、子どもが 0 歳の時に取得するケースが多く、17.1% となっている。

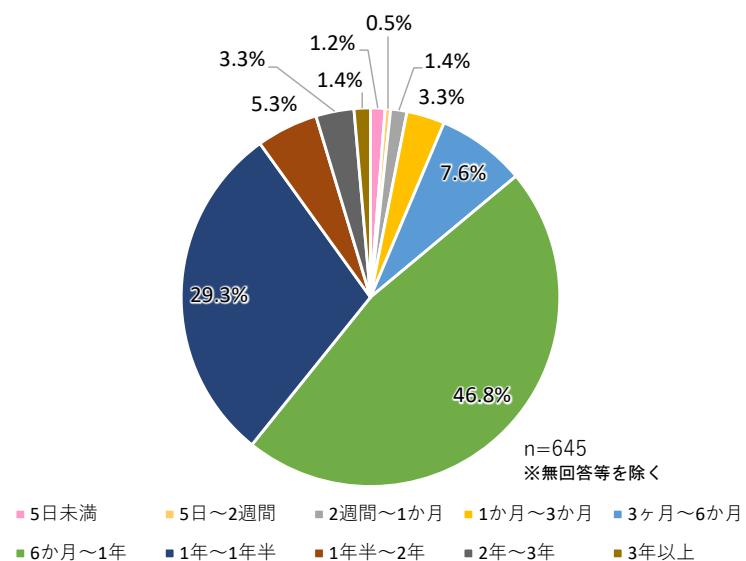
【グラフ】



問 3-3-2-4 育児休暇について、保護者にあたる母親の方が最も直近で取得した際の、取得期間について教えてください。(1つを選択)

○育児休暇を取得した母親のうち、取得期間については 6 か月～1 年が全体の 46.8% と最も多く、次いで 1 年～1 年半が 29.3% となっている。この 2 項目で全体の約 76% を占めている。

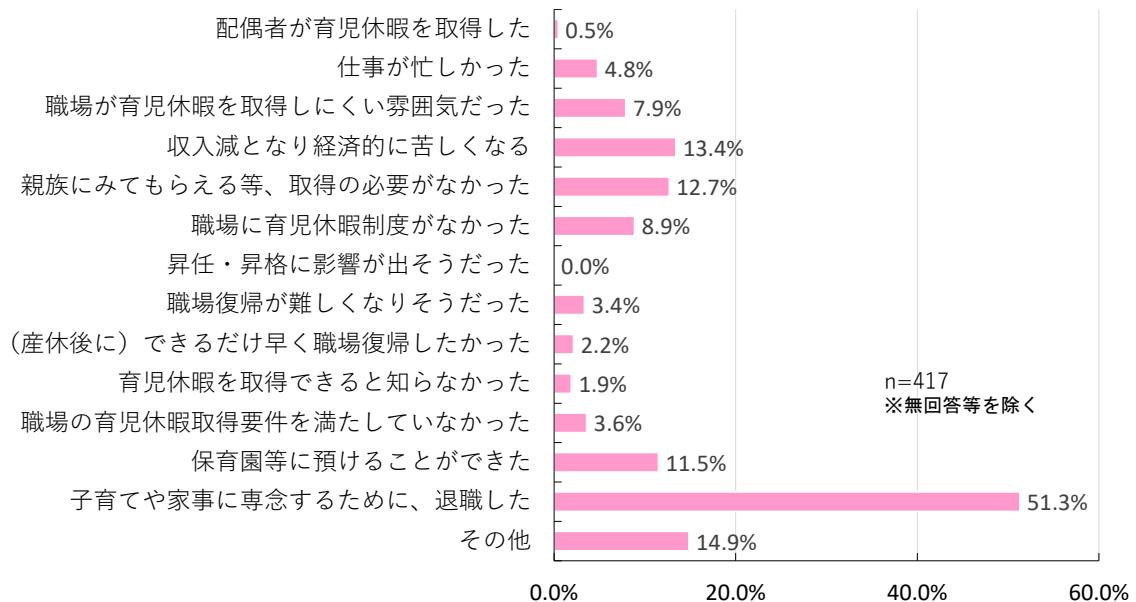
【グラフ】



問 3-3-2-5 育児休暇について、保護者にあたる母親の方が取得しなかった理由を教えてください。(当てはまるものすべて選択)

- 育児休暇について、母親が取得しなかった理由で最も多かったものは「子育てや家事に専念するために、退職した」である。
- 次いで、収入減となり経済的に苦しくなる・親族にみてもらえる等、取得の必要がなかった・保育園等に預けることができたが多くなっている。

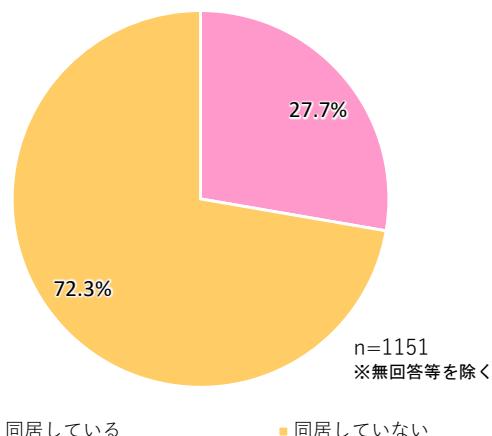
【グラフ】



問 3-0-3 現在、父母以外の保護者にあたる方がお子さんと同居していますか。(1つを選択)

- 回答のうち、27.7%の家庭で、父母以外の保護者にあたる人物と子どもが同居している。

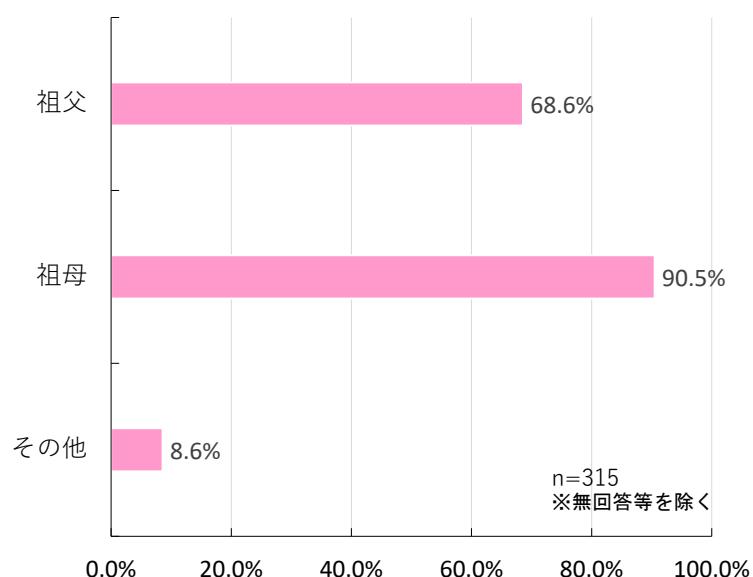
【グラフ】



問 3-1-3-1 父母以外の保護者にあたる方の、お子様との関係を教えてください。(当てはまるものすべて選択)

- 父母以外の保護者にあたる人物の子どもとの関係について、祖母が最も多く、回答の90.5%の割合となっている。
- 次いで、祖父が多く、回答の68.6%の割合となっている。

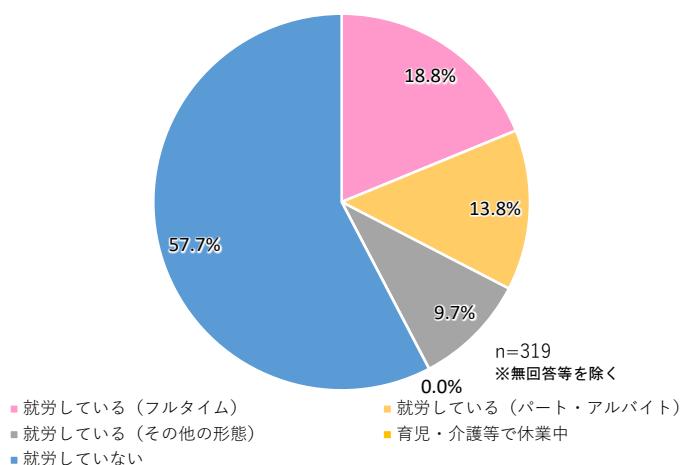
【グラフ】



問 3-1-3-2 父母以外の保護者にあたる方の就労形態について教えてください。(1つを選択)

- 回答のうち、42.3%の家庭で父母以外の保護者にあたる人物が就労している。
- 一方で、就労していない割合が57.7%となっている。

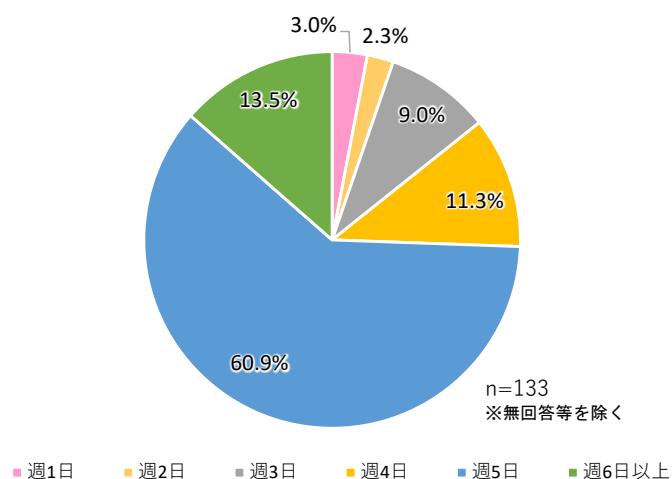
【グラフ】



問 3-1-3-3 父母以外の保護者にあたる方の1週間あたりの大まかな就労日数について教えてください。(1つを選択)

- 回答のうち、60.9%の家庭で父母以外の保護者にあたる人物が週5日程度(週休2日程度)で就労している。
- 次いで、週6日以上が13.5%で多く、週5日程度と合わせて全体の74.4%を占めている。

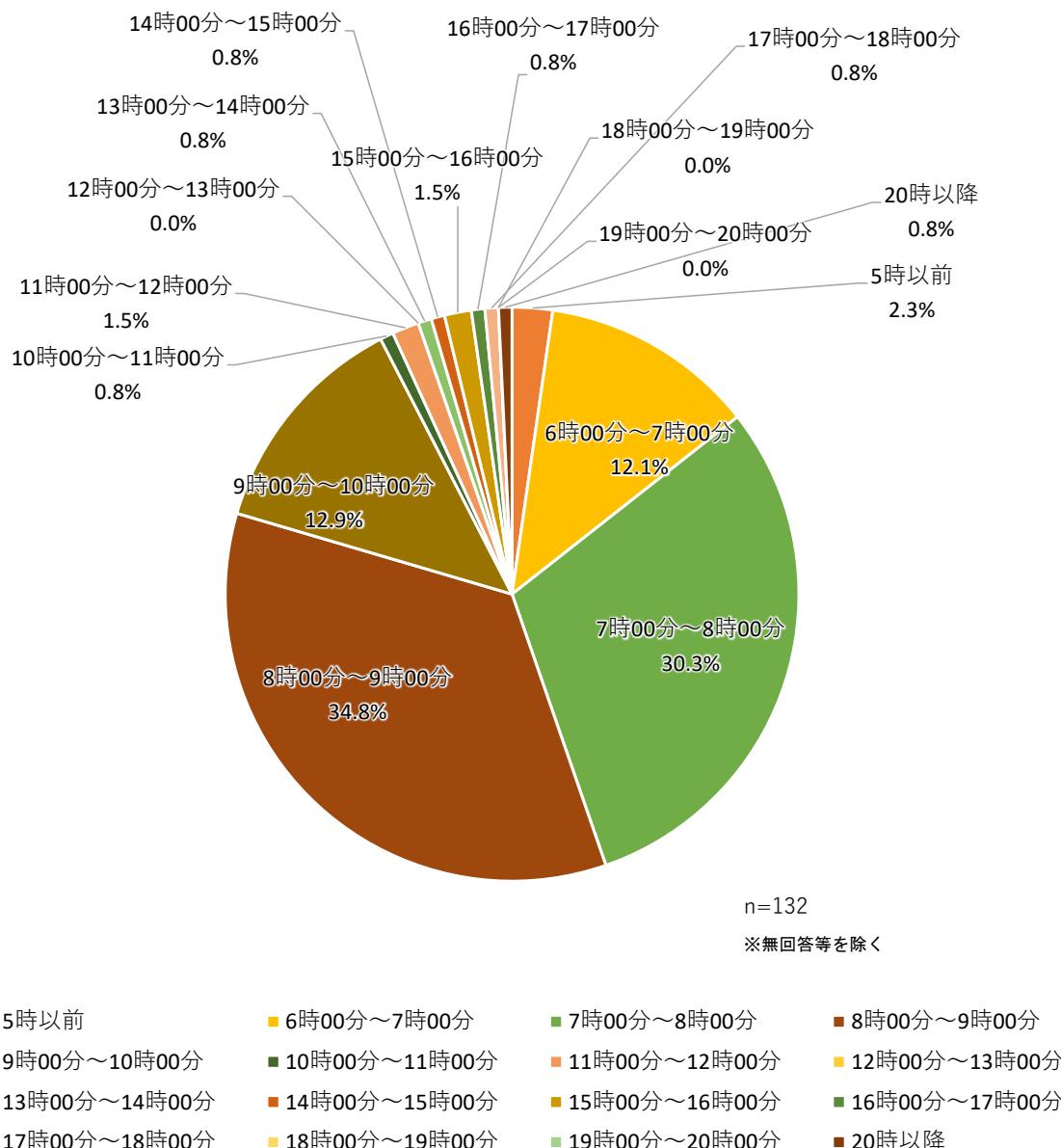
【グラフ】



問 3-1-3-4 父母以外の保護者にあたる方の大まかな出勤時間について教えてください。(1つを選択)

- 回答者のうち、8時～9時の間に出勤している割合が最も高く、全体の約35%を占めている。
- 次いで、8時～9時が34.8%となり、これらを合わせた時間帯(7時～9時)のうちに全体の65.1%が集中している。

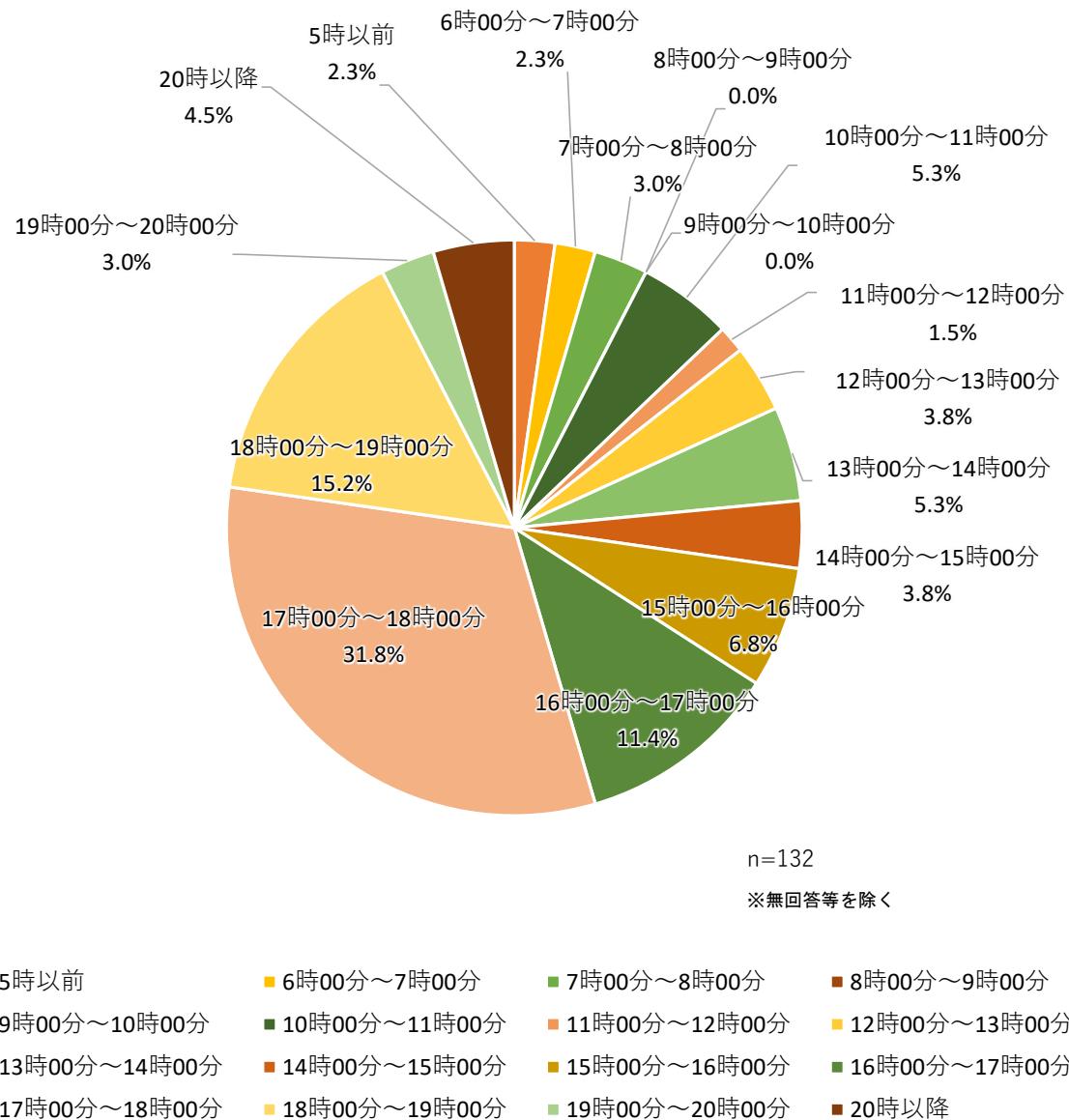
【グラフ】



問 3-1-3-5 父母以外の保護者にあたる方の大まかな帰宅時間について教えてください。(1つを選択)

- 回答者のうち、17 時～18 時の間に帰宅している割合が最も高く、全体の 31.8%を占めている。
- 次いで、18 時～19 時・16 時～17 時がそれぞれ 15.2%・11.4%となっている。

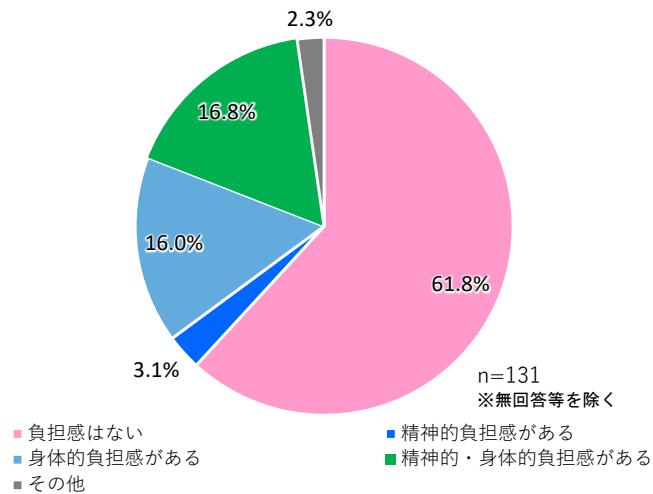
【グラフ】



問 3-2-3-1 父母以外の保護者にあたる方の就労状況について子育てとの両立に負担感はありますか。(1つを選択)

- 回答のうち、61.8%の割合で、現在の就労状況に負担感はないと回答している。
- 一方で、精神的・身体的の両方で負担感を感じる割合が16.8%存在している。

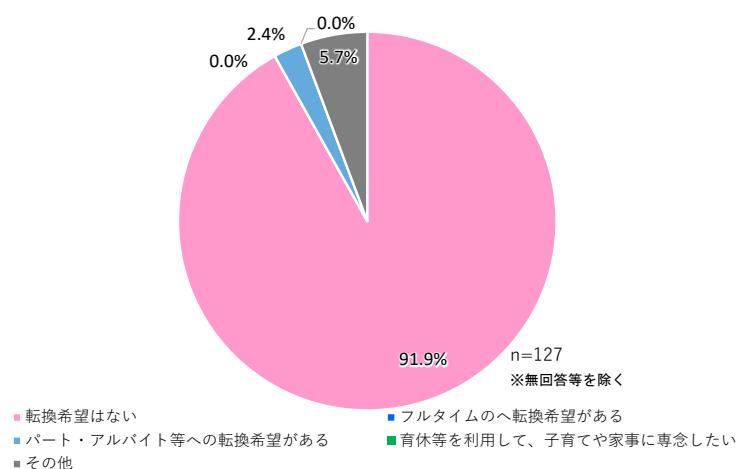
【グラフ】



問 3-2-3-2 父母以外の保護者にあたる方の就労形態について転換希望はありますか。(1つを選択)

- 回答のうち、91.9%の割合で就労形態に転職希望はないと回答している。

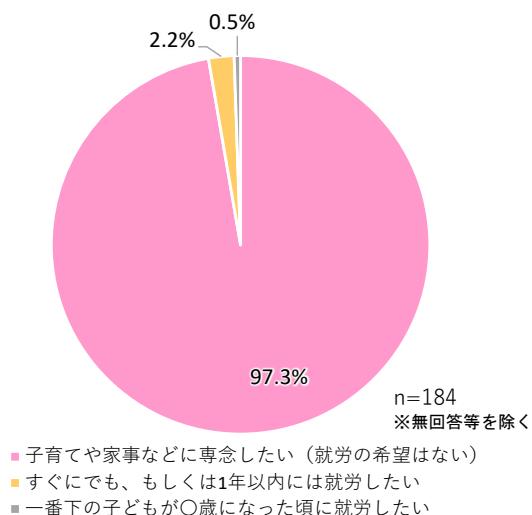
【グラフ】



問 3-2-3-3 父母以外の保護者にあたる方の就労形態について、就労希望はありますか。(1つを選択)

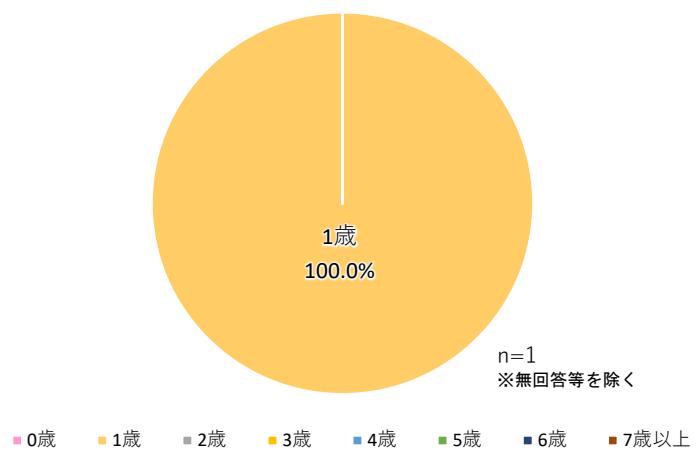
○現在就労していないと回答した人のうち、97.3%が子育てや家事に専念したく、就労の希望はないと回答している。

【グラフ】



問 3-2-3-4 子どもが何歳になった際に、就労したいと考えていますか。(1つを選択)

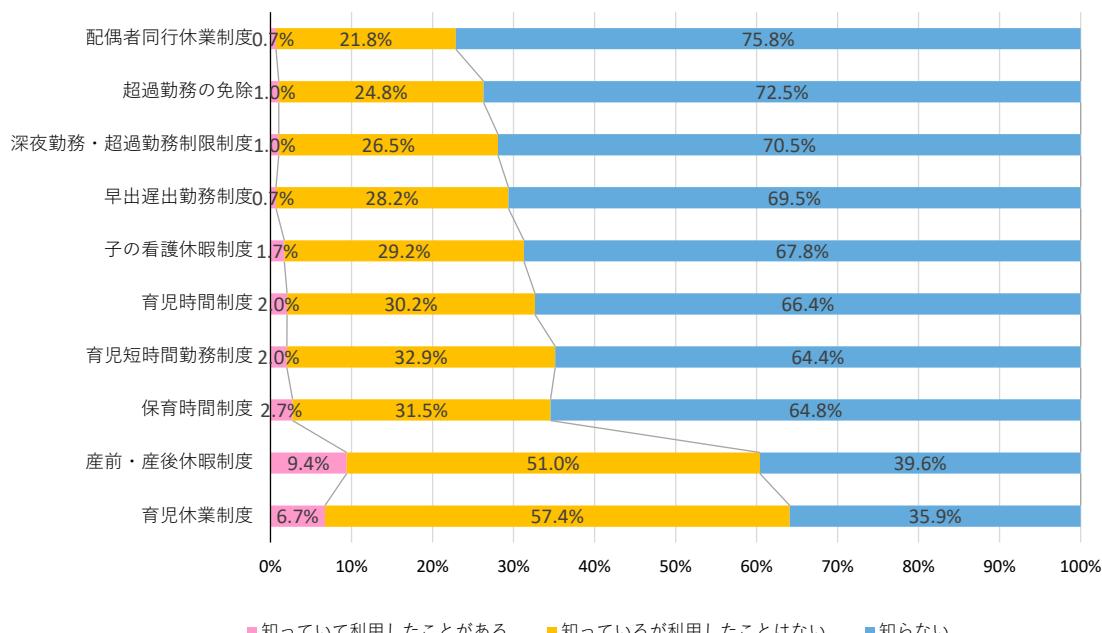
【グラフ】



問 3-3-3-1 子育て両立支援制度について、父母以外の保護者にあたる方が知っているものや利用したことのある制度はありますか。(制度ごとに1つを選択)

○産前産後休暇制度・育児休業制度において、知っていて利用したことのある割合が高く、それぞれ 9.4%・6.7% となっている。

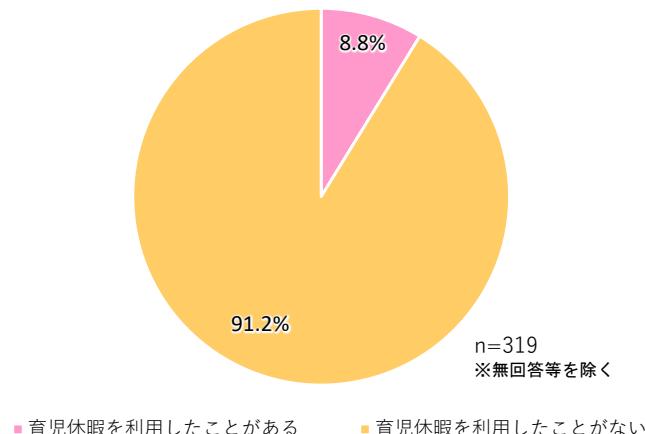
【グラフ】



問 3-3-3-3 育児休暇について、父母以外の保護者にあたる方がこれまでに利用したことはありますか？（1つを選択）

○育児休暇を利用したことのある回答者は、約9%前後に留まっている。

【グラフ】

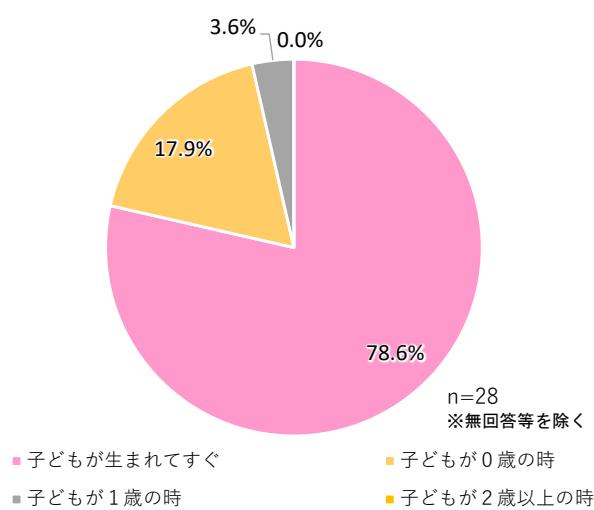


問 3-3-3-4 育児休暇について、父母以外の保護者にあたる方が最も直近で取得した際の、取得した時期を教えてください。（各時期につき1つを選択）

○育児休暇を取得した回答者のうち、78.6%で子どもが生まれてすぐに取得している。

○次いで、子どもが0歳の時に取得するケースが多く、17.9%となっている。

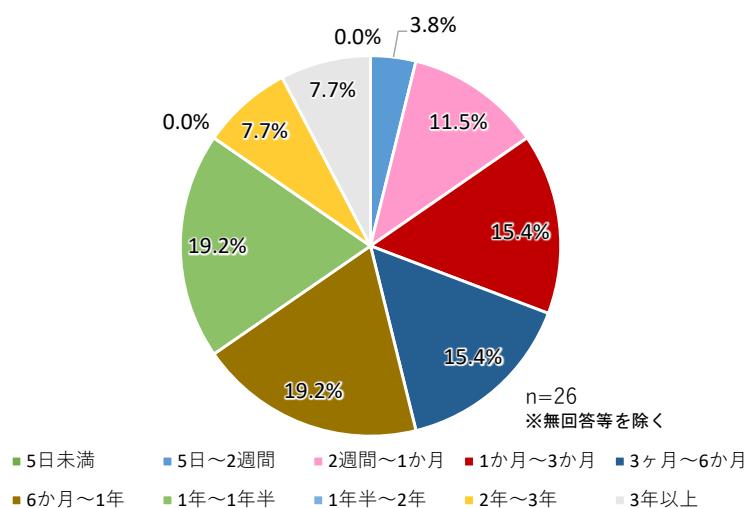
【グラフ】



問 3-3-3-5 育児休暇について、父母以外の保護者にあたる方が最も直近で取得した際の、取得期間について教えてください。(1つを選択)

- 育児休暇を取得した回答者のうち、取得期間については6か月～1年・1年～1年半が最も多く、それぞれ全体の約19%ずつを占めている。
- 次いで1か月～3か月・3か月～6か月が多く、それぞれ約15%となっている。

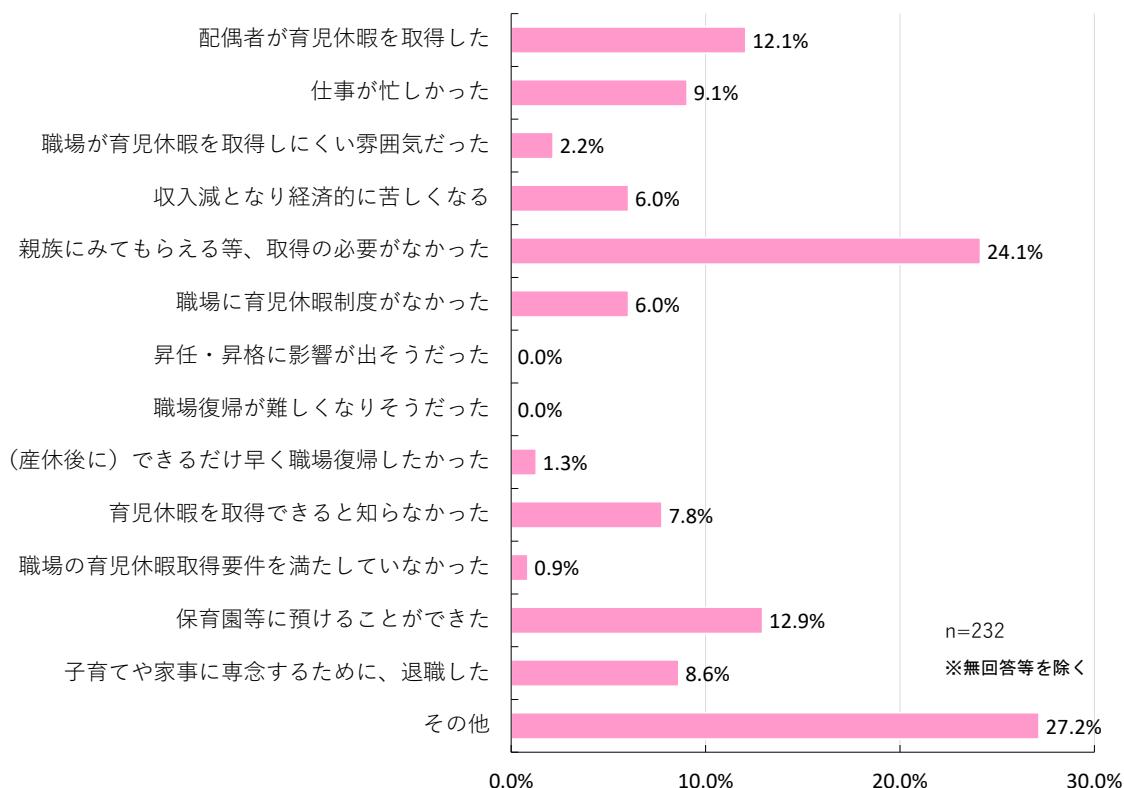
【グラフ】



問 3-3-3-6 育児休暇について、父母以外の保護者にあたる方が取得しなかった理由を教えてください。(当てはまるものすべて選択)

- 育児休暇について、父母以外の保護者にあたる人物が取得しなかった理由で最も多かったものは、親族にみてもらえる等、取得の必要がなかったからとなり、回答のうちおよそ 24%を占める割合となっている。
- 次いで、保育園等に預けることができた・配偶者が育児休暇を取得したとの回答がそれぞれ約 12%と多くなっている。

【グラフ】

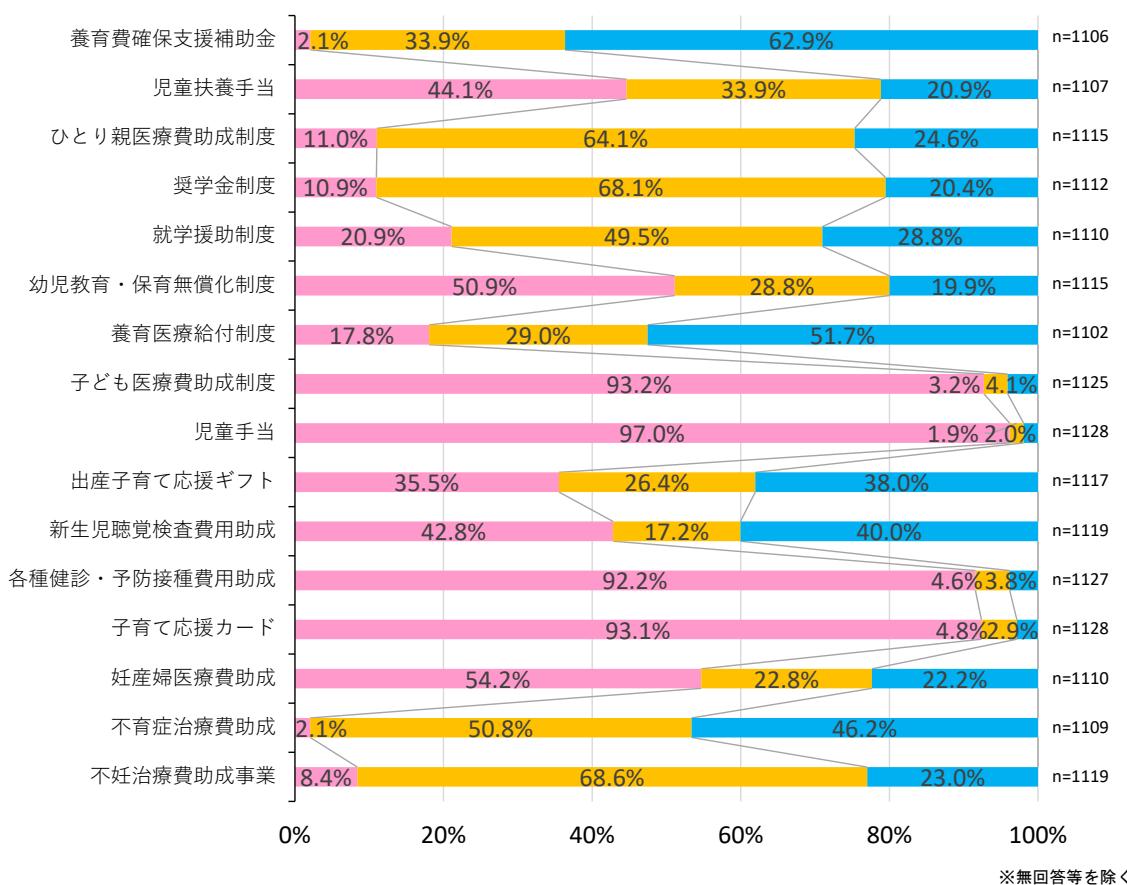


問4 子どもに係る経済状況について

問4-1-1 子どもに係る経済的行政支援制度について、知っている制度などはありますか。(制度ごとに1つを選択)

○子どもに係る経済的行政支援制度について、子ども医療費助成制度や児童手当な、児童扶養手当等の大きな助成制度が高い認知度となっている。

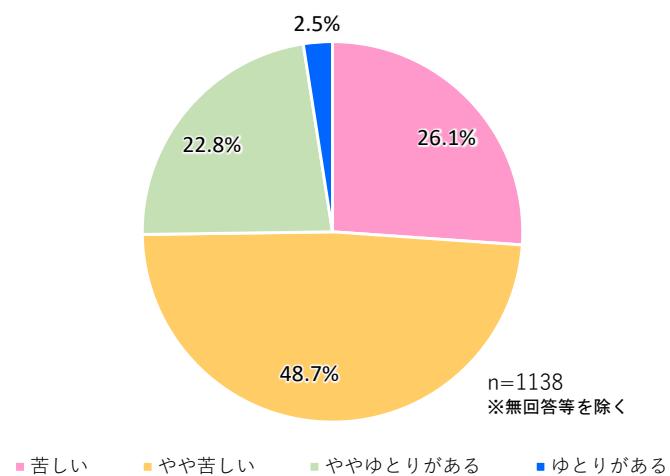
【グラフ】



問4-2-1 家計全体における現在の生活状況をどうお感じになりますか。(1つを選択)

○74.8%の人が、苦しいかやや苦しいと回答している。

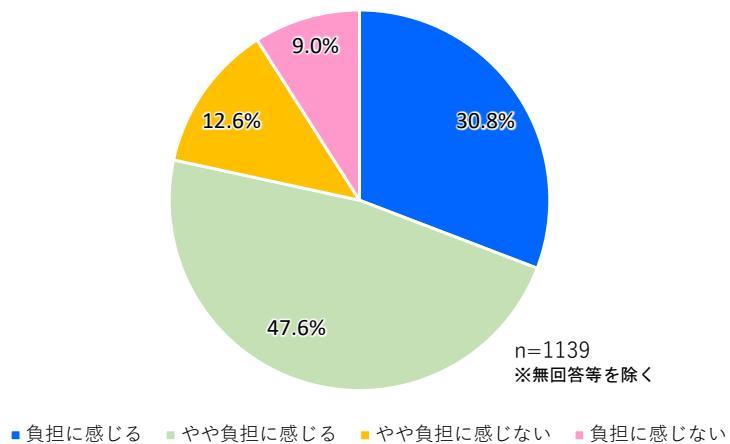
【グラフ】



問4-2-2 子どもに係る経済的状況について、負担感はありますか。(1つを選択)

○78.4%の人が負担に感じる・やや負担に感じると回答している。

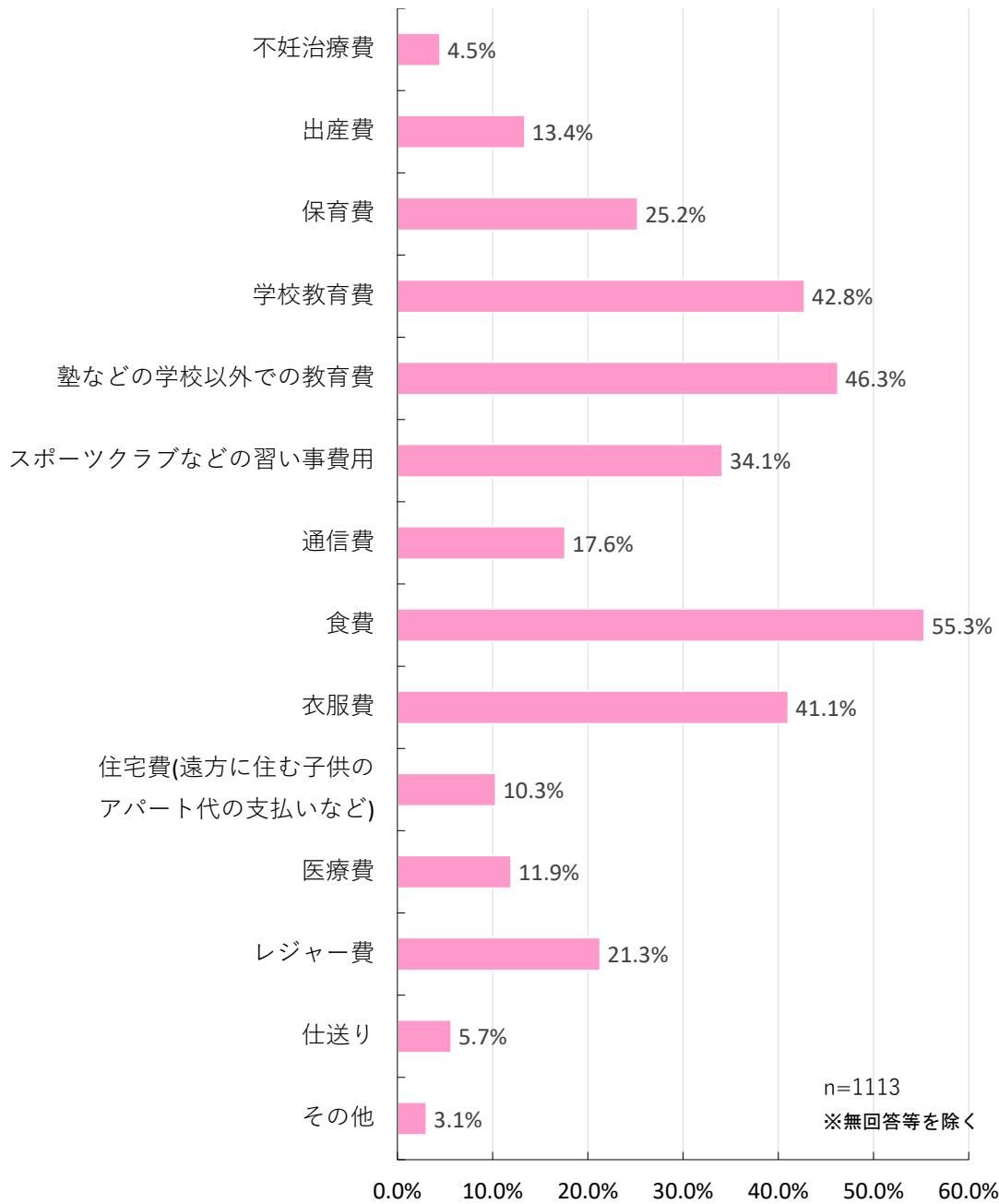
【グラフ】



問 4-2-3 子どもに係る経済的負担として、大きいものを教えてください。（当てはまるものすべて選択）

- 子どもに係る経済的負担について、食費が最も多くなっている。
- 次いで、学校教育費・塾など学校以外の教育費が高くなっている。

【グラフ】

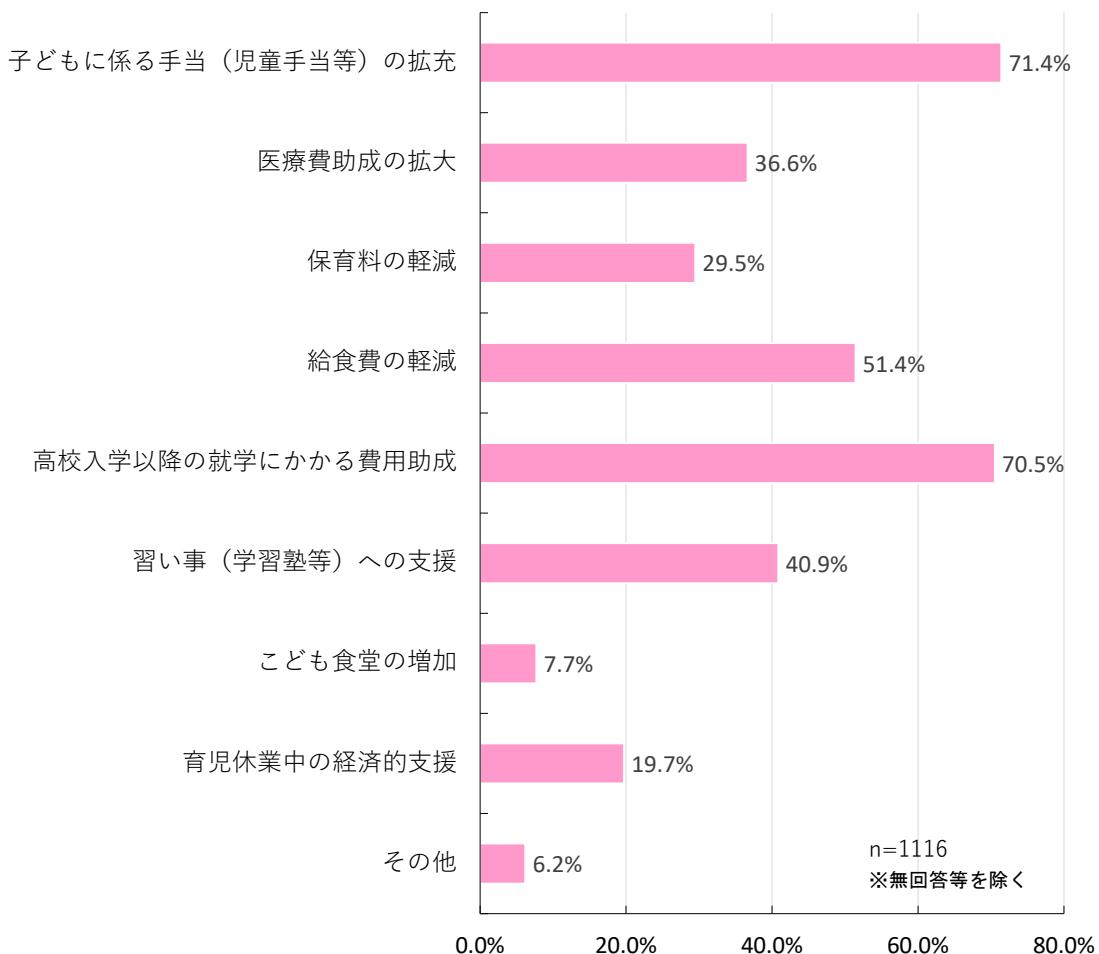


問4-2-4 子どもに係る経済的負担を減らすために、市に取り組んでほしい経済的支援の取り組みがありましたら教えてください。(当てはまるものすべて選択)

【考察】

- 子どもに係る手当の拡充が最も多く、回答の71.4%を占めている。
- 次いで、高校入学以降の就学にかかる費用助成が多く、70.5%となっている。

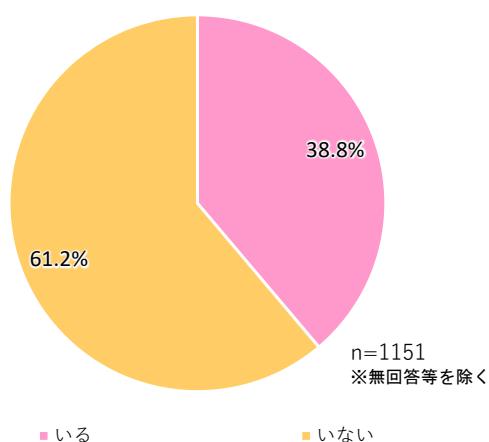
【グラフ】



問5 教育・保育事業の利用状況・利用希望について

問 5-1-1 現在、保育園や認定こども園等の教育・保育事業を利用されているお子さんはいらっしゃいますか。(1つ選択)

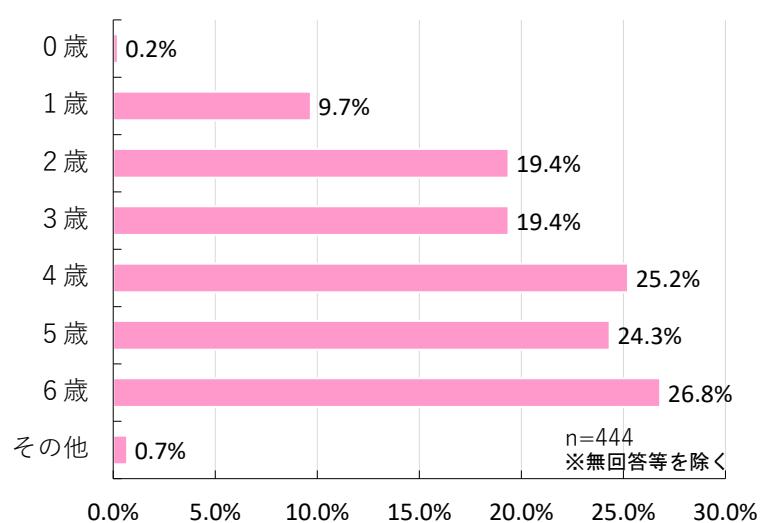
【グラフ】



問 5-1-2 利用されているお子さん全員の、現在の年齢を教えてください。(当てはまるものすべて選択)

- 保育園や認定こども園等の教育・保育事業を利用している子どもの年齢分布について、6歳が最も多く、回答の26.8%を占める結果となっている。
- 次いで、4歳・5歳がそれぞれ回答の25.2%、24.3%となっている。

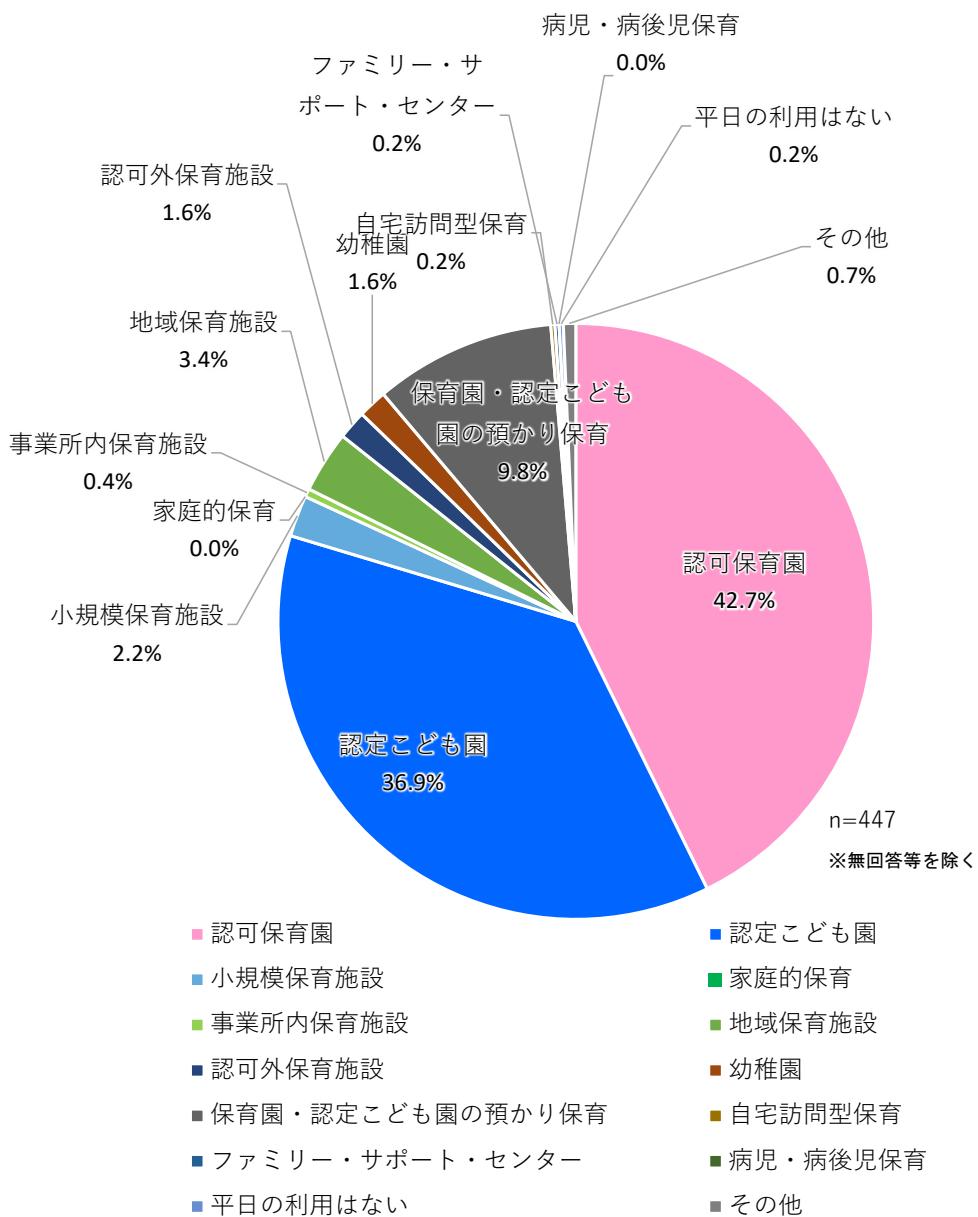
【グラフ】



問5-1-3 平日にどのような教育・保育の事業を利用していますか。(1つを選択)

- 認可保育園が最も多く、全体の約42.7%を占めている。
- 次いで、認定こども園が多く、全体の36.9%を占めている。

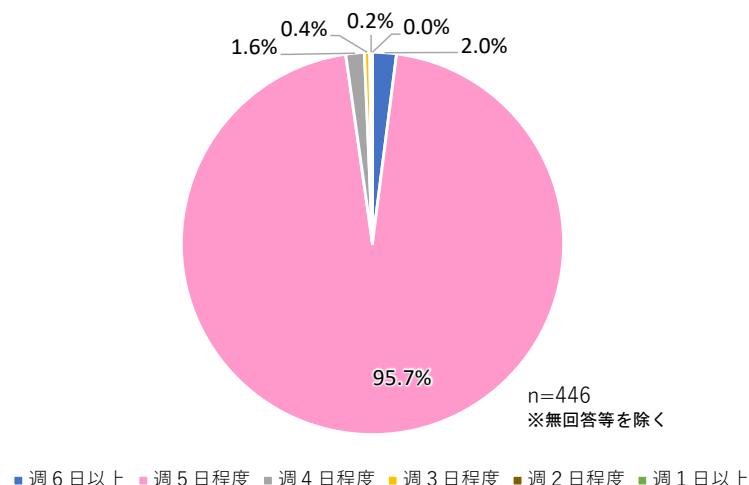
【グラフ】



問 5-1-4 平日に利用している教育・保育の事業について、週にどのくらい利用していますか。(1つを選択)

○平日に利用している教育・保育事業の利用頻度について、週に 5 日程度利用しているとの回答が圧倒的に多く、全体の 95.7%を占めている。

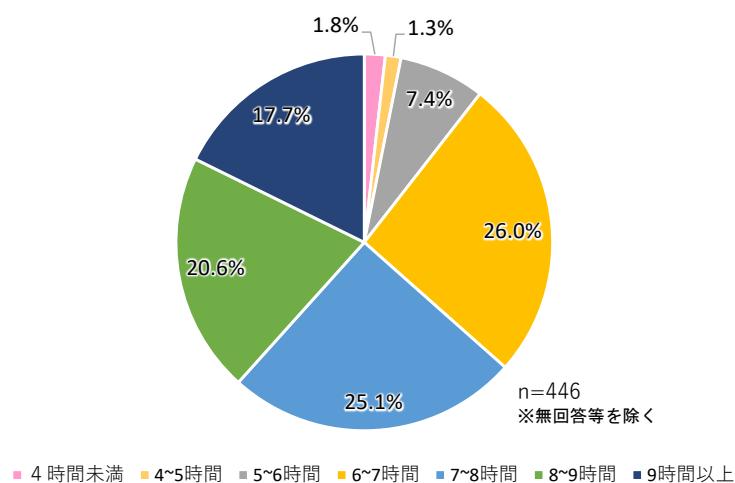
【グラフ】



問 5-1-5 平日に利用している教育・保育の事業について、1日に利用される時間としてあてはまるものを教えてください。(1つを選択)

○平日に利用している教育・保育事業の 1 日の利用時間について、6 時間～7 時間が 26.0%と最も多い。一方で、9 時間以上が 17.7%に上り、一定数が早朝・延長保育を利用していることがわかる。

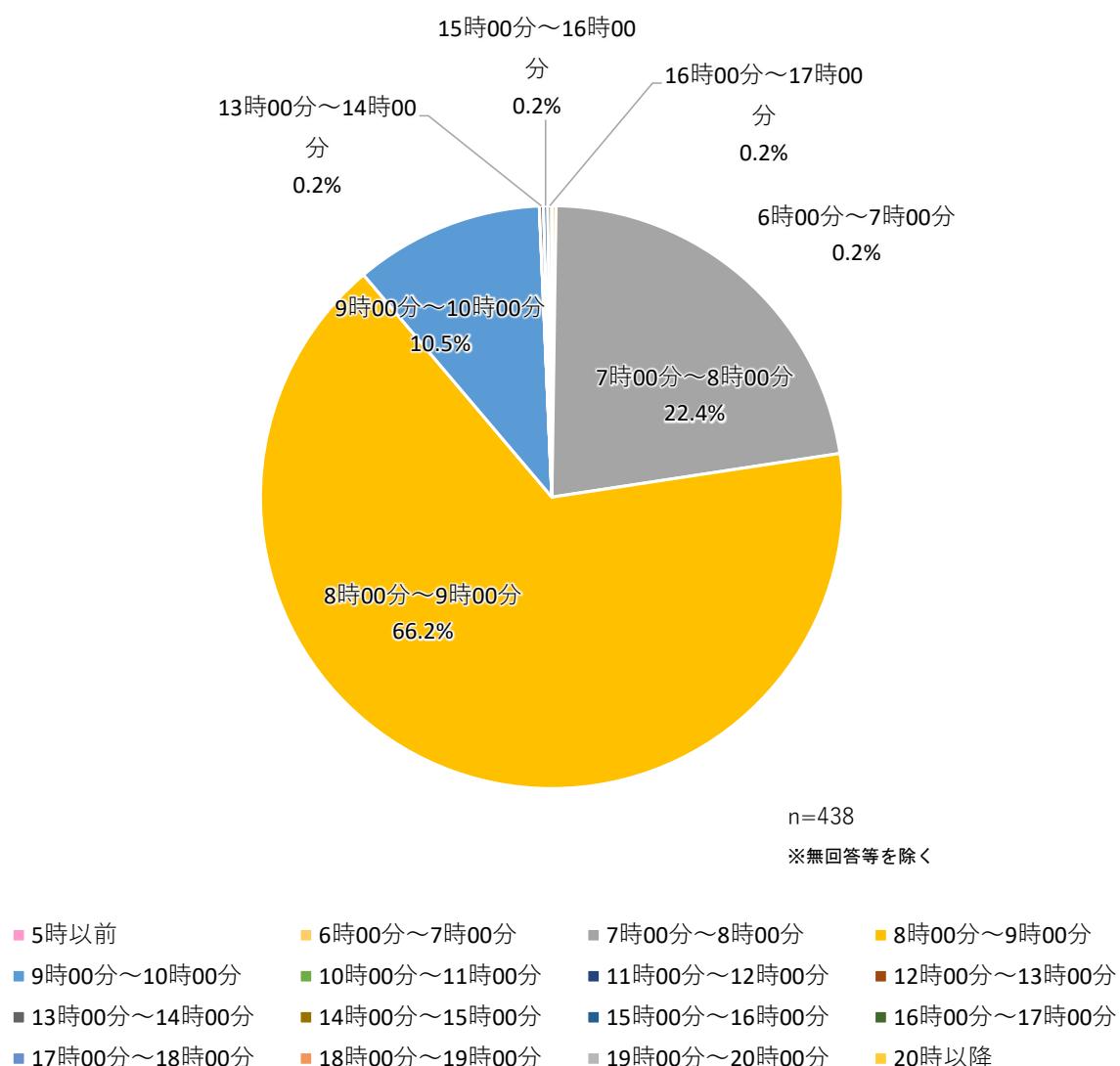
【グラフ】



問 5-1-6 平日に利用している教育・保育の事業について、大まかな利用開始時間を教えてください。(1つを選択)

○平日に利用している教育・保育事業の大まかな利用開始時間について、8時～9時の利用開始が圧倒的に多く、全体の66.2%を占めている。

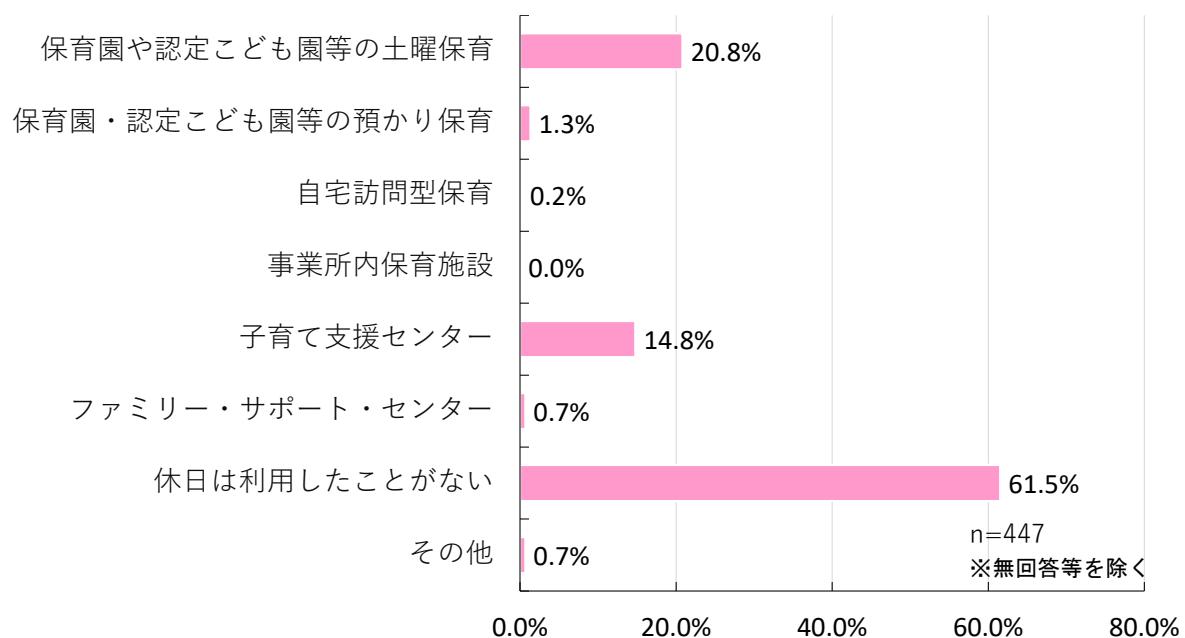
【グラフ】



問5-1-7 休日（土日祝日）にどのような教育・保育の事業を利用したことがありますか。（1つを選択）

- 休日に利用したことのある教育・保育事業について、休日は利用したことがないとの回答が最も多く、回答の 61.5%の割合となっている。
- 利用したことのある施設の中では、保育園や認定こども園等の土曜保育が 20.8%で最も多く、次いで子育て支援センターが多くなっている。

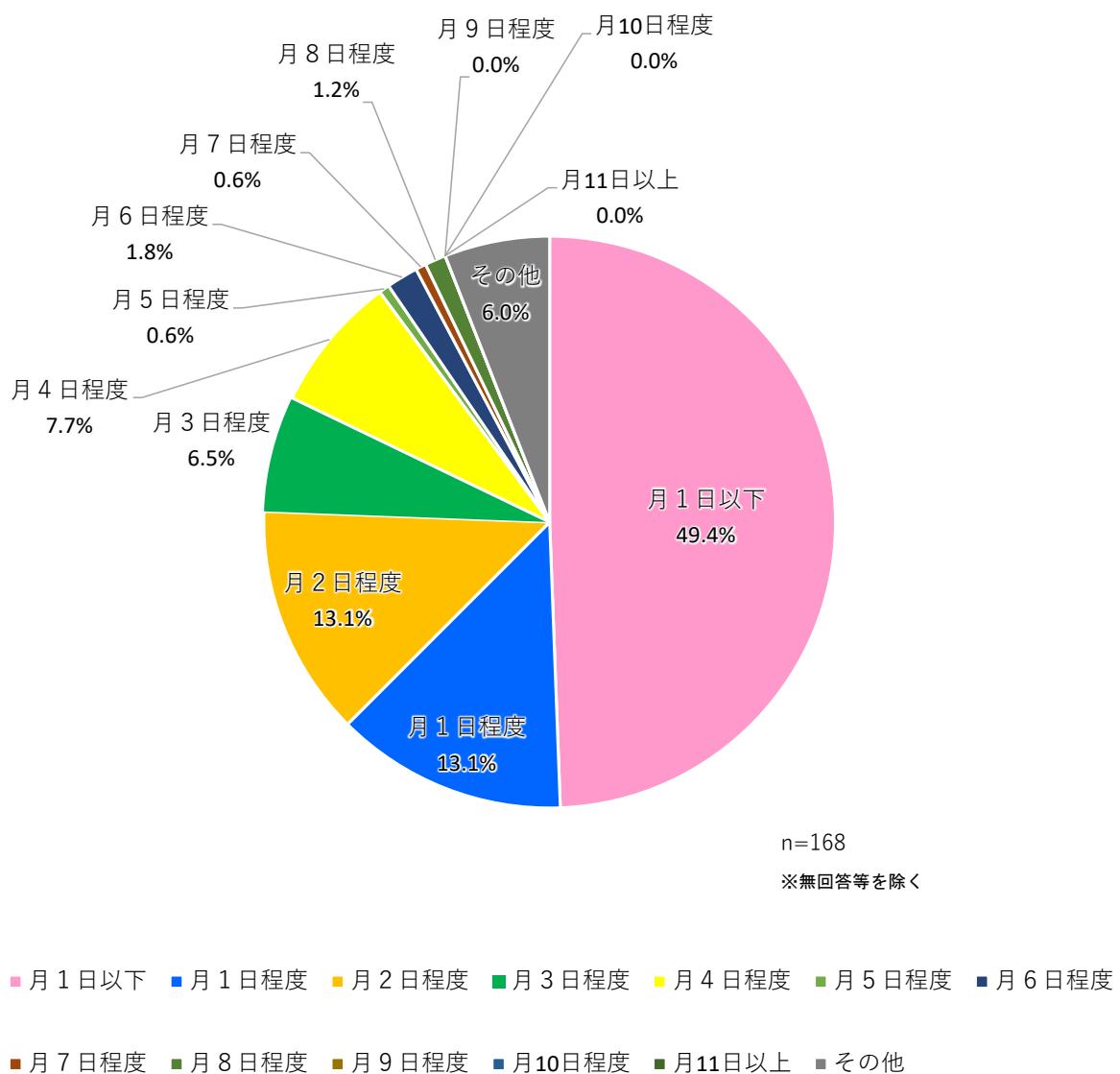
【グラフ】



問5-1-8 休日（土日祝日）に利用している教育・保育の事業について、月にどのくらい利用していますか。（1つを選択）

- 休日利用している教育・保育の事業の利用頻度について、月1日以下が最も多く、全体の約半数を占めている。
- 次いで、月1日程度・月2日程度が多く、いずれも13.1%の割合となっている。

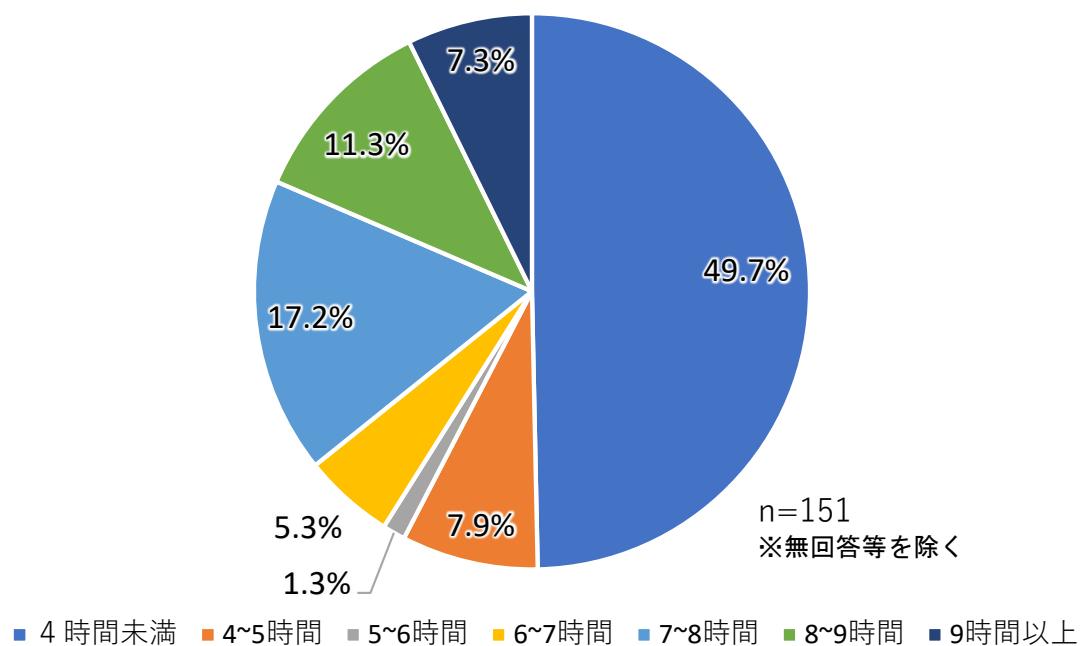
【グラフ】



問 5-1-9 休日（土日祝日）に利用している教育・保育の事業について、1日にどのくらい利用していますか。（1つを選択）

- 現在休日に利用している教育・保育事業について、1日に4時間未満の利用が最も多く、全体の約半数となっている。
- 一方で、7～8時間・8～9時間の割合が次いで多く、2項目を合わせると全体の28.6%弱となることから、休日の長時間にわたる教育・保育事業にも一定の需要や希望があることが分かる。

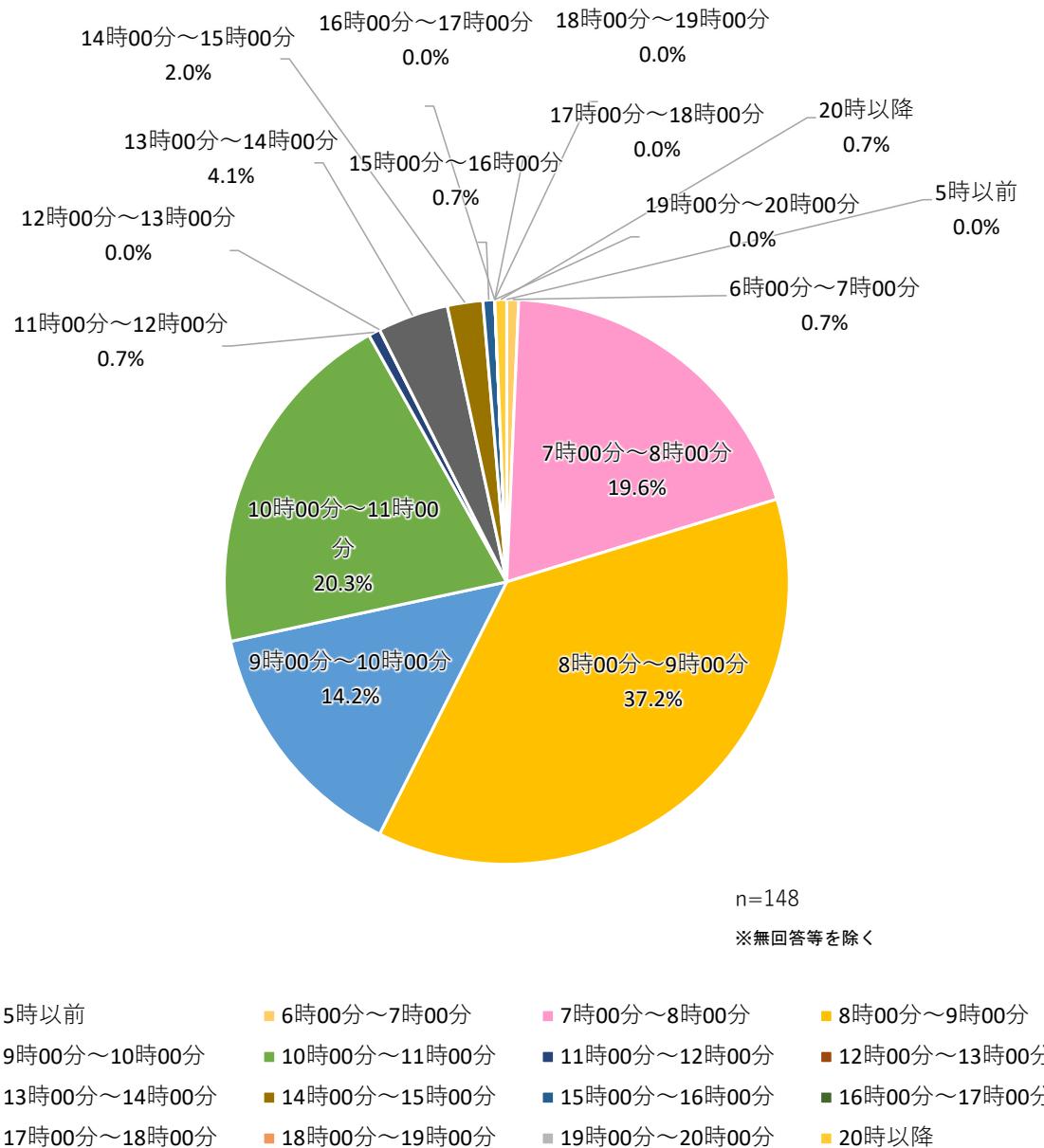
【グラフ】



問 5-1-10 休日（土日祝日）に利用している教育・保育の事業について、大まかな利用開始時間を教えてください。（1つを選択）

- 休日に利用している教育・保育の事業の利用開始時間について、8時～9時が最も多く、全体の37.2%を占めている。
- 次いで、10時～11時と、7時～8時が20.3%、19.6%と続く。

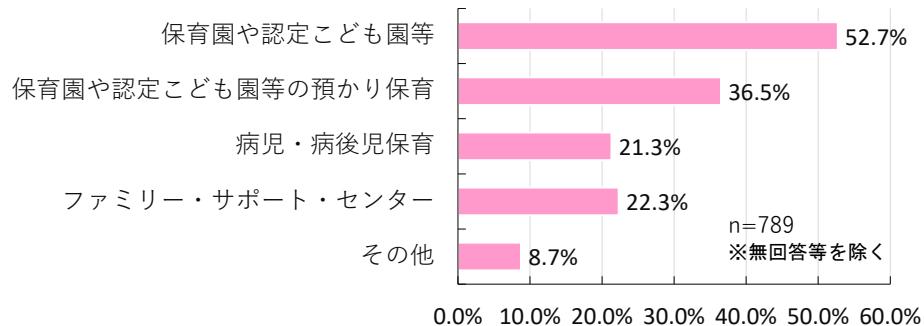
【グラフ】



問 5-1-11 長期休暇中（年末年始、ゴールデンウィーク等）に利用できる保育の事業があればどのような事業を希望しますか。（当てはまるものすべて選択）

- 長期休暇中に利用可能な保育の事業について、保育園や認定こども園等を希望する割合が最も高く、回答者のうち 52.7%が希望している。
- 次いで、保育園や認定こども園等の預かり保育の割合が高く、36.5%の回答割合となっている。

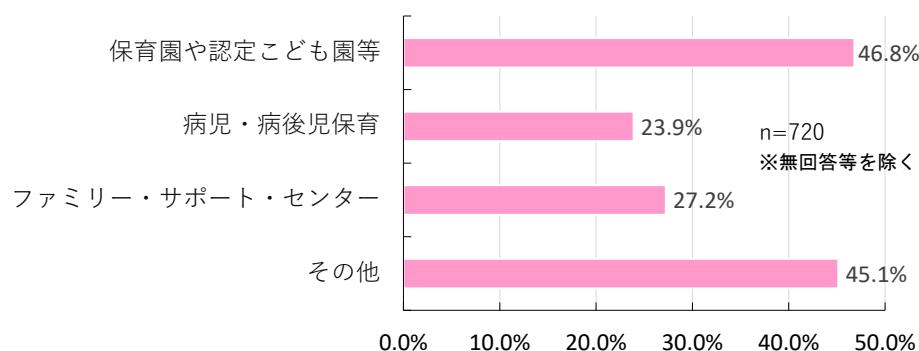
【グラフ】



問 5-1-12 夜間（20 時～6 時）に利用できる保育の事業があればどのような事業を希望しますか。（当てはまるものすべて選択）

- 夜間に利用可能な保育の事業について、保育園や認定こども園等を希望する割合が最も高く、回答者のうち 46.8%となっている。

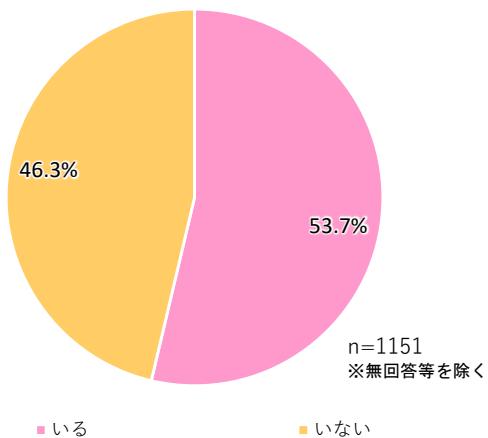
【グラフ】



問 5-1-13 現在、小学生のお子さんはいらっしゃいますか。(1つを選択)

○回答者のうち、53.7%の家庭で、小学生の子どもがいる結果となっている。

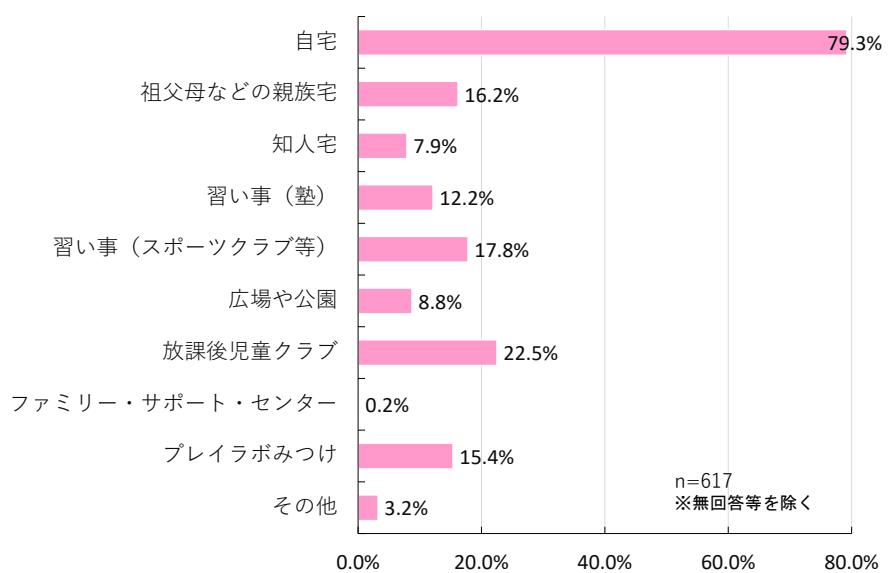
【グラフ】

問 5-1-14 対象のお子さんについて、放課後（平日の学校終了後）の時間をどのような所で過ごしていますか。（当てはまるものすべて選択）

○小学生の子どもの放課後の過ごし方について、自宅で過ごす子どもが最も多く、79.3%となっている。

○次いで、放課後児童クラブに参加する子どもの割合が高く、22.5%となっている。

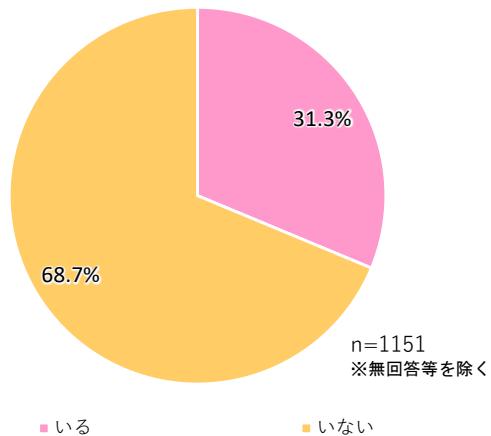
【グラフ】



問 5-1-15 現在、中学生のお子さんはいらっしゃいますか。(1つを選択)

○回答者のうち、31.3%の家庭で、中学生の子どもがいる結果となっている。

【グラフ】

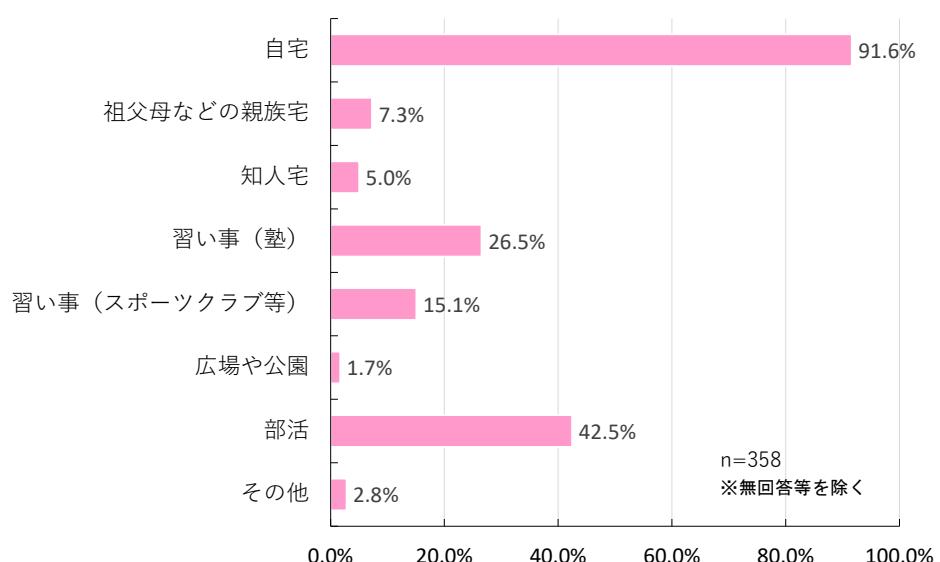


問 5-1-16 対象のお子さんについて、放課後（平日の学校終了後）の時間をどのような所で過ごしていますか。（当てはまるものすべて選択）

○中学生の子どもの放課後の過ごし方について、自宅で過ごす子どもが最も多く、91.6%となっている。

○次いで、部活動を行って過ごす子どもの割合が高く、42.5%となっている。

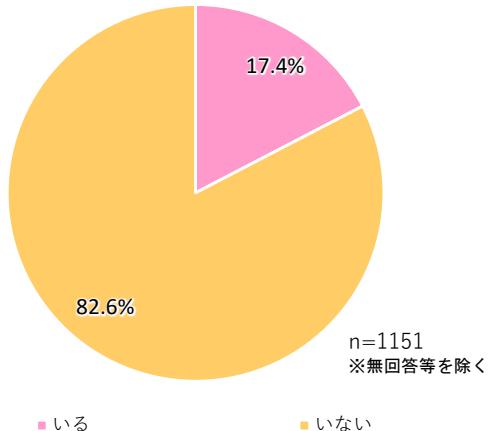
【グラフ】



問 5-1-17 現在、高校生のお子さんはいらっしゃいますか。(1つを選択)

○回答者のうち、17.4%の家庭で、高校生の子どもがいる結果となっている。

【グラフ】

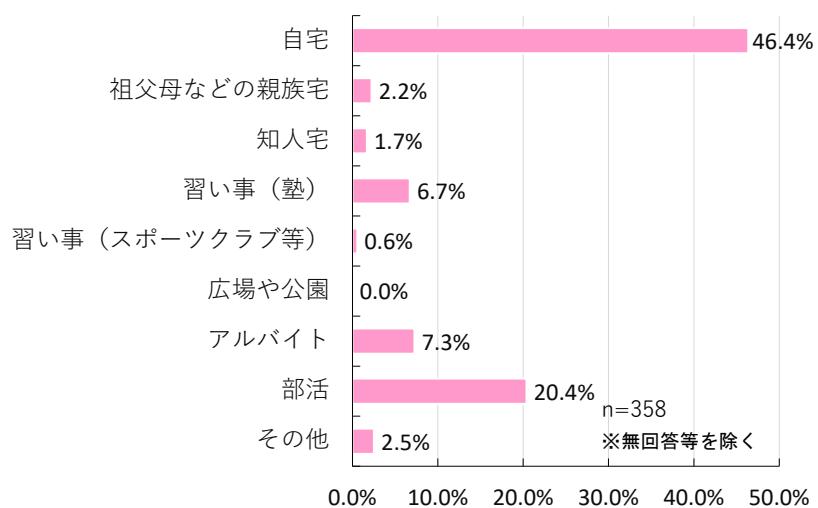


問 5-1-18 対象のお子さんについて、放課後（平日の学校終了後）の時間をどのような所で過ごしていますか。(当てはまるものすべて選択)

○高校生の子どもの放課後の過ごし方について、自宅で過ごす子どもが最も多く、46.4%の回答割合となっている。

○次いで、部活動を行って過ごす子どもの割合が高く、20.4%となっている。

【グラフ】

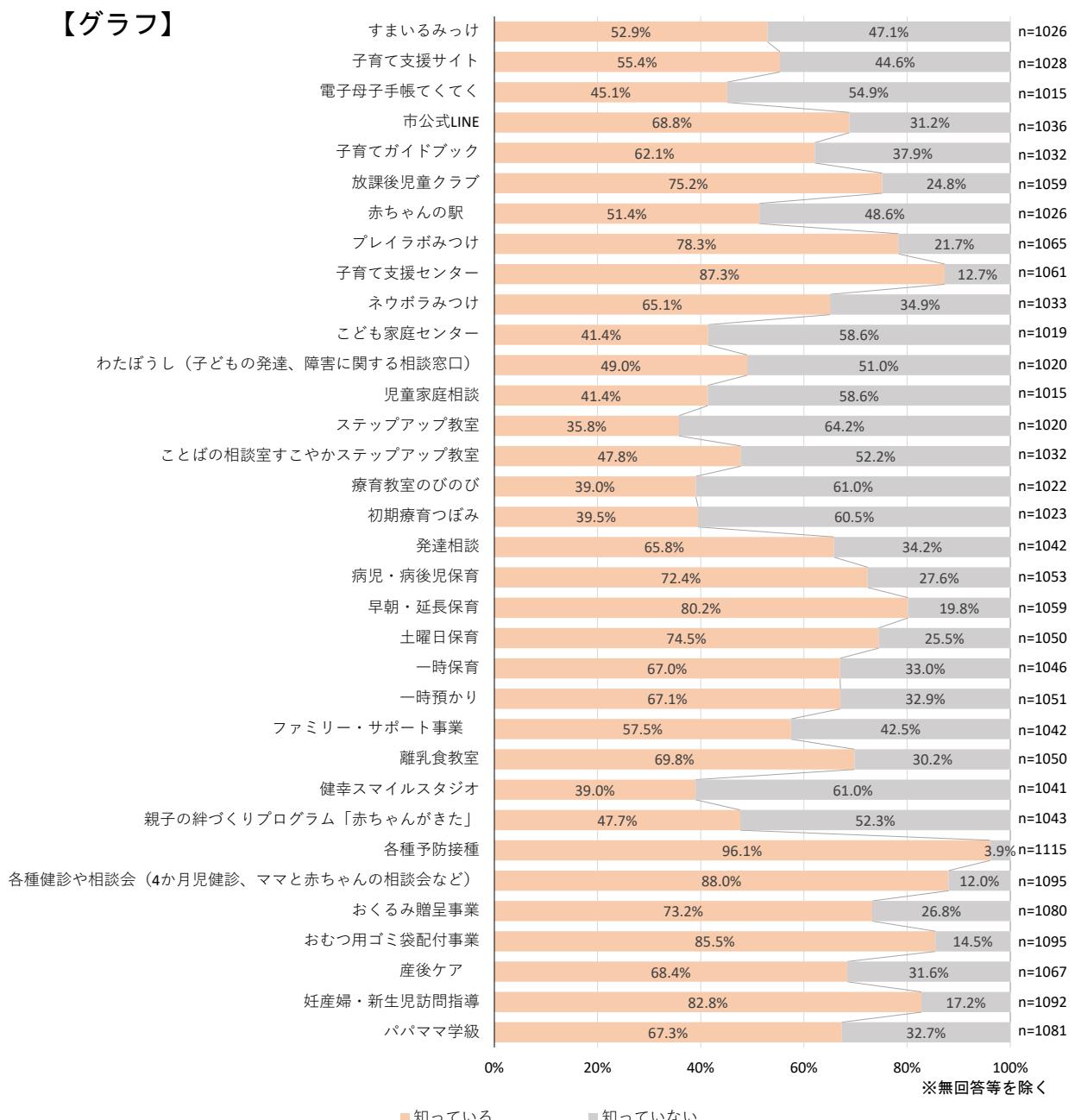


問6 現在の見附市子ども・子育て支援施策について

問6-1-1 表記の各事業について知っていますか。制度についての満足度と併せて教えてください。(事業ごとに1つを選択)

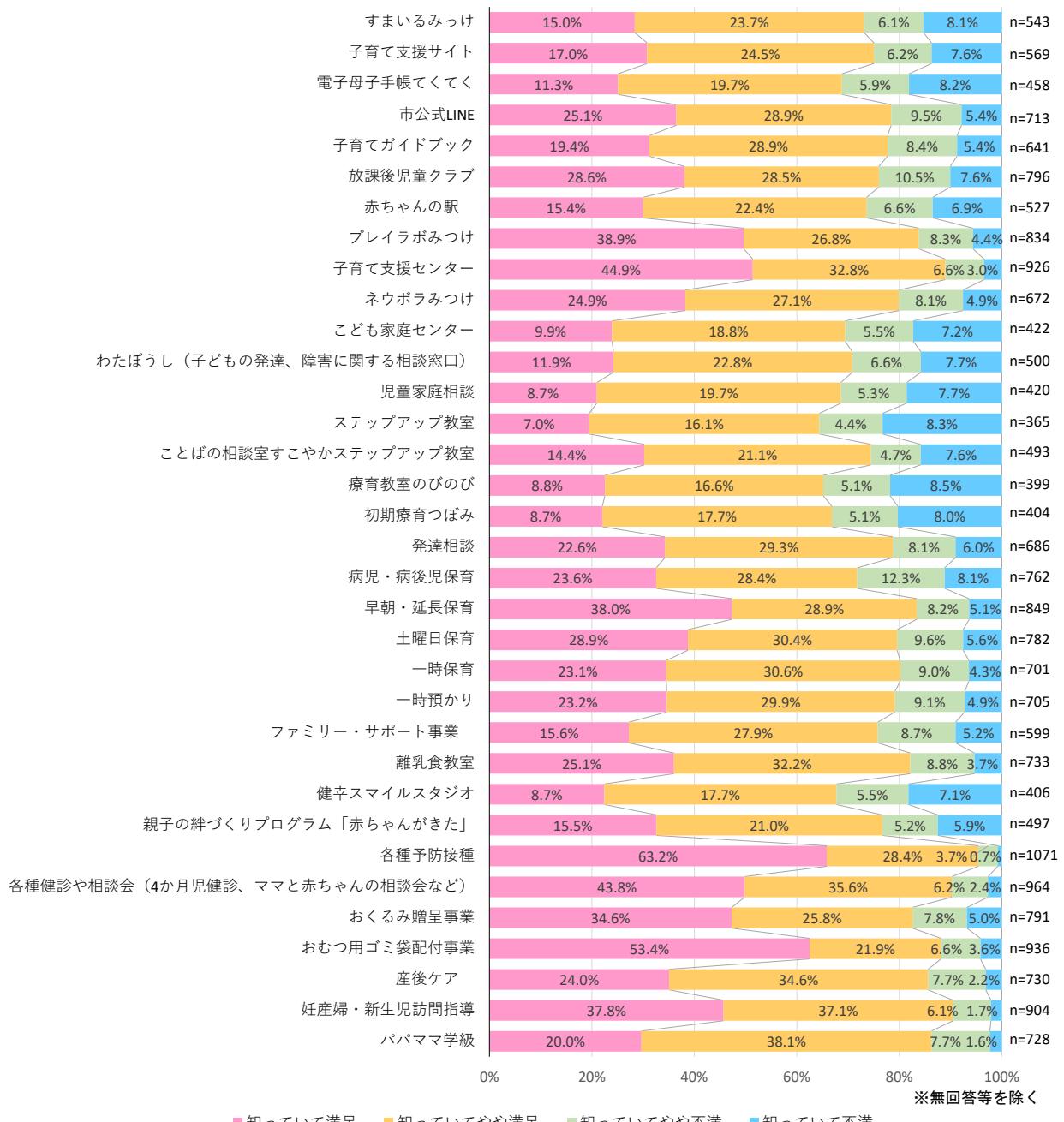
- 「各種予防接種・各種検診や相談会・子育て支援センター・おむつ用ゴミ袋配布事業・妊産婦及び新生児訪問指導」について、事業内容を知っているとの回答が多い結果となっている。
- 「ステップアップ教室・健幸スマイルスタジオ・療育教室のびのび・初期療育つぼみ」について、事業内容を知らないとの回答が多い結果となっている。

【グラフ】



- 現在の見附市の子ども・子育て支援施策別の認知度・満足度について、「各種予防接種・各種検診や相談会・子育て支援センター・おむつ用ゴミ袋配布事業・妊産婦及び新生児訪問指導」で特に満足度が高い結果となっている。
- 一方で、「病児及び病後児保育・放課後児童クラブ・土曜日保育・一時預かり・市公式LINE」で比較的満足度が低い傾向にある結果となっている。

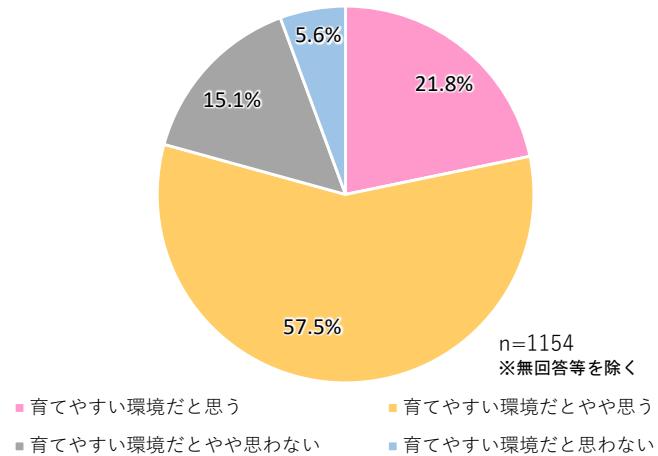
【グラフ】



問 6-2-1 あなたは、見附市が子どもを産みやすく、育てやすい環境だと思いますか。(1つを選択)

- 回答について、産みやすく、育てやすい環境だとやや思うが最も多く、全体の 57.5% となっている。
- 79.3%の割合で、見附市が子どもを産みやすく、育てやすい環境だと思うという結果であった。

【グラフ】

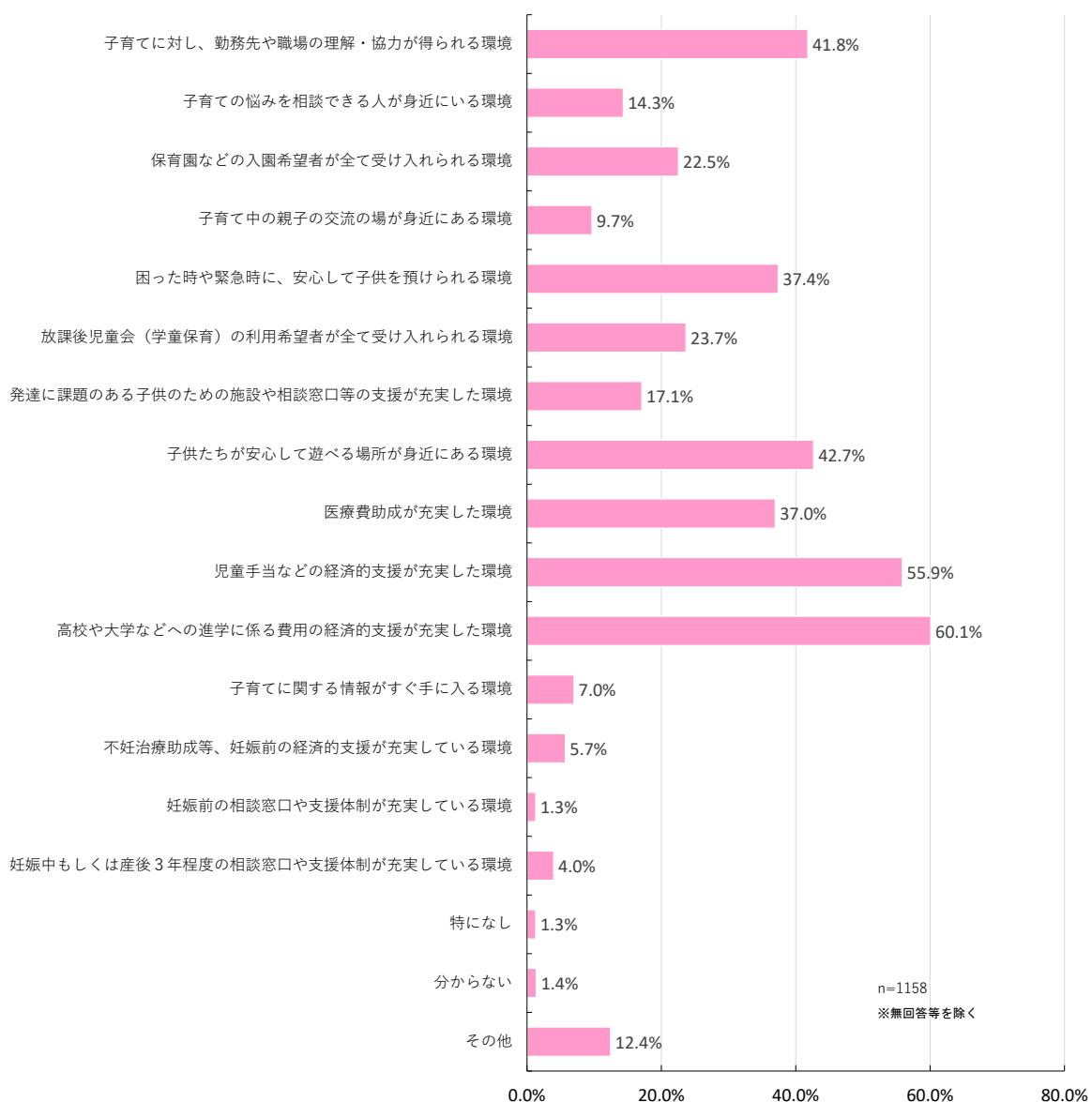


**問 6-2-2 どのような環境が整えば、もっと子育てがしやすくなると思いますか。
(上位 5 つまで選択)**

【考察】

- 子育てのしやすい環境の整備について、高校や大学などへの進学にかかる経済的支援との回答割合が最も多く、60.1%となっている。
- 次いで、児童手当などの経済的支援が充実した環境が多く、55.9%となっている。
- さらに、子どもたちが安心して遊べる場所が身近にある環境・子育てに対し、勤務先や職場の理解や協力が得られる環境との回答割合も高く、それぞれ42.7%、41.8%の回答となっている。

【グラフ】

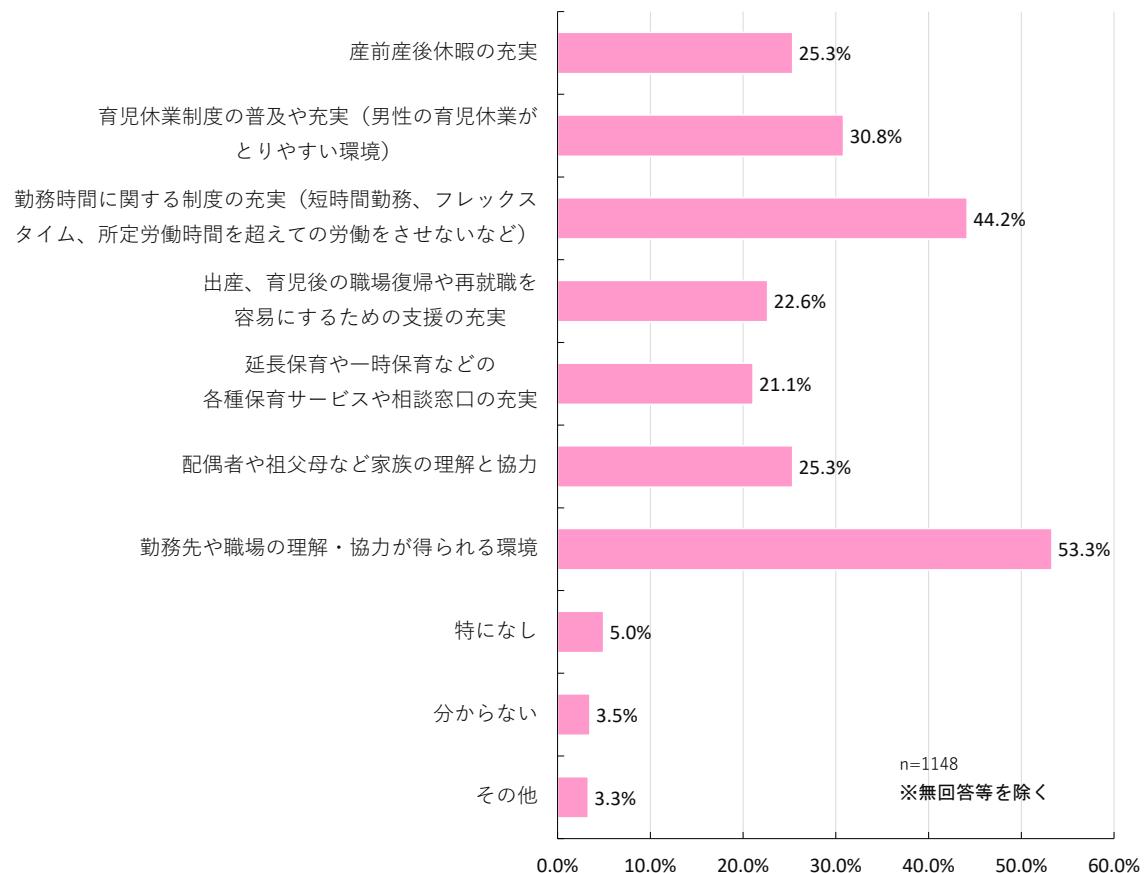


問 6-2-3 仕事と子育てを両立するためにあればよいと思うことはありますか。

(上位 3 つまで選択)

- 仕事と子育ての両立に向けて望まれる環境や施策について、勤務先や職場の理解・協力が得られる環境との回答が最も多くなっている。
- 次いで、勤務時間に関する制度の充実が多く、44.2%の回答割合となっている。

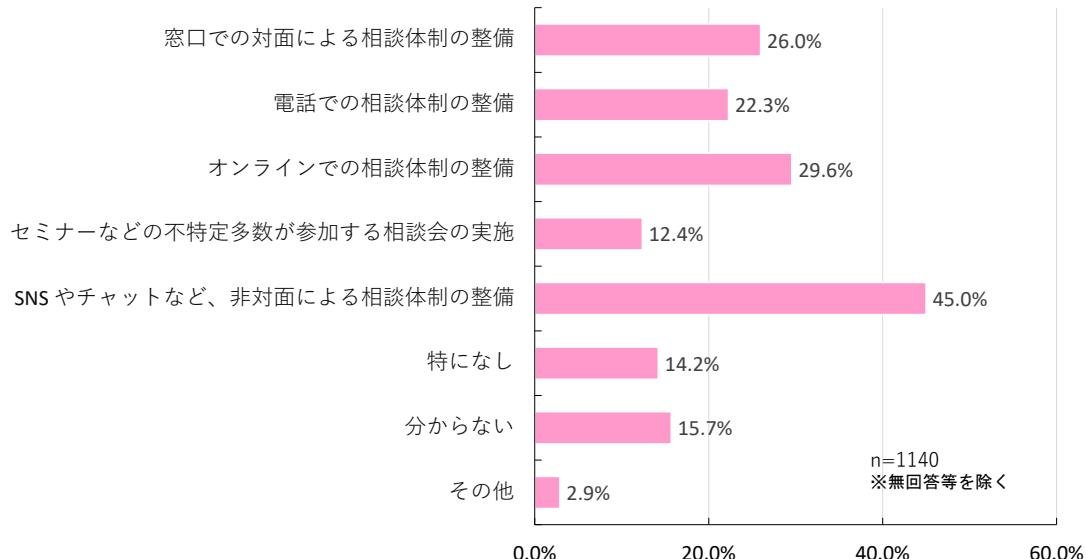
【グラフ】



問 6-2-4 どのような相談環境が整えば、もっと子育てに関する相談がしやすくなると思いますか。(上位 3 つまで選択)

○より子育てに関する相談がしやすい環境に向けて、SNS やチャットなど、非対面による相談体制の整備との回答が 45.0% となっている。

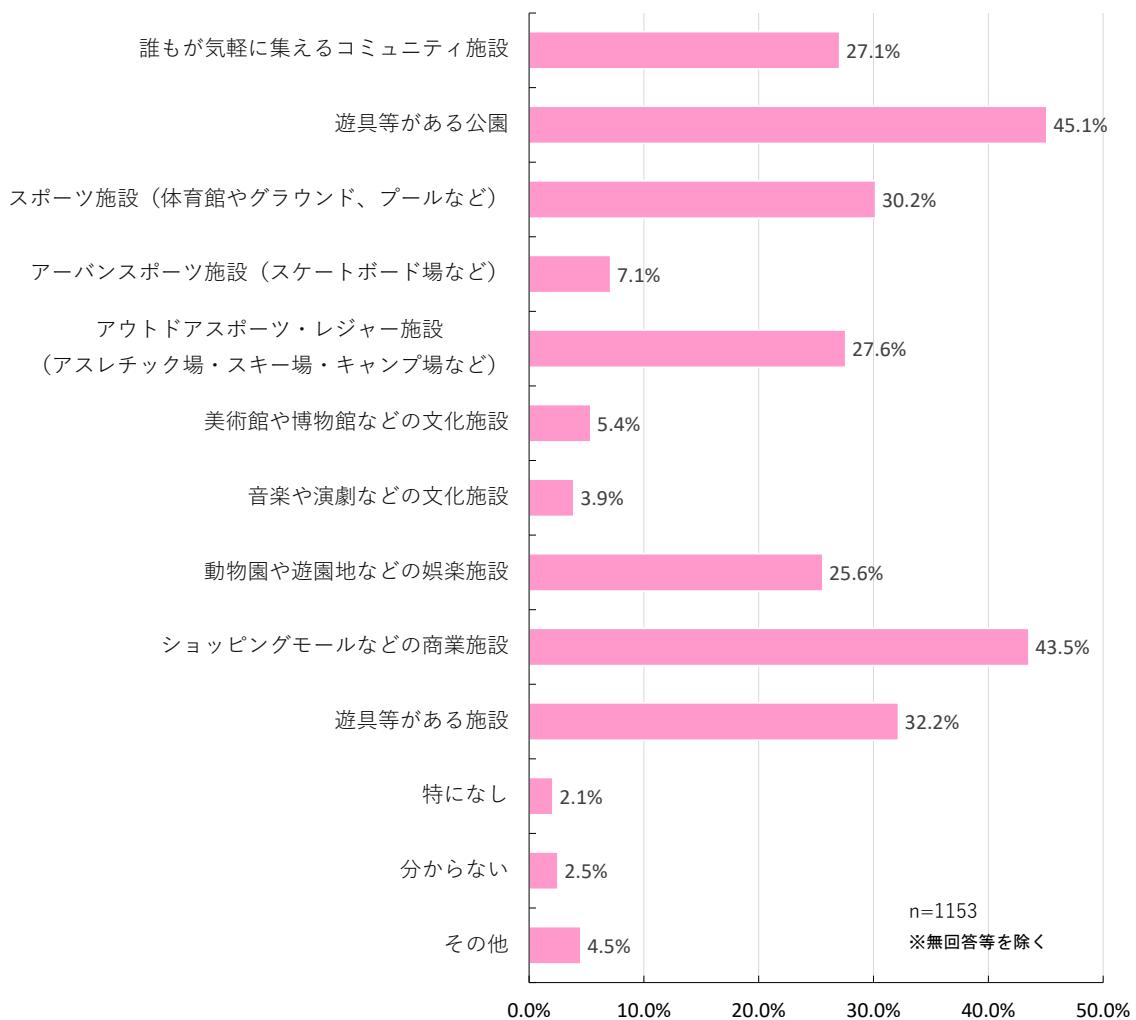
【グラフ】



問 6-2-5 子どもが遊びやすく親が子育てのしやすい街に向けて、今後見附市にほしい子ども・子育て施設はありますか。(上位 3 施設まで)

- 今後見附市にほしい子ども・子育て施設について、遊具等がある公園の回答割合が最も高く、回答のうち 45.1%がほしいと回答している。
- 次いで、ショッピングモールなどの商業施設が多く、43.5%の割合となっている。
- 一方で、音楽や演劇などの文化施設・美術館や博物館などの文化施設の回答割合低く、いずれも 5%程度の回答となっている。

【グラフ】

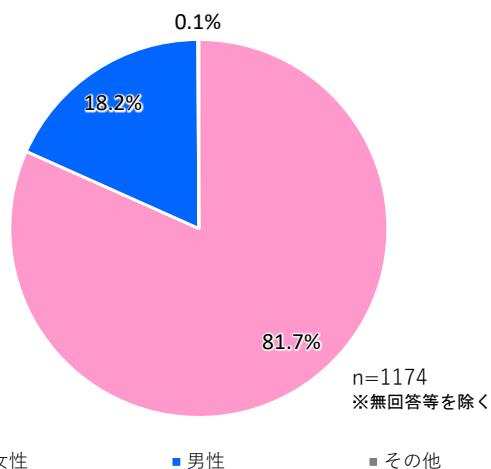


問7 回答者自身の基本情報

問7-1 あなたの性別を教えてください。(1つを選択)

○女性が 81.7%、男性が 18.2% となっている。

【グラフ】



問7-1 あなたのご年齢を入力ください。

○40歳代の回答割合が最も多く、全体の 46% を占めている。

○次いで、30歳代の回答が多く、34% を占めている。

【グラフ】

